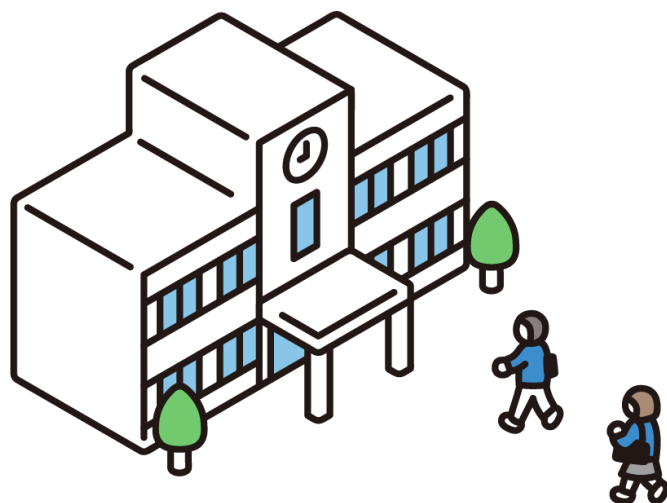


学校教育



1. 市立小・中学校の概要











2023年5月1日現在、町田市には42校の市立小学校と20校の市立中学校（うち小中一貫校1校）があります。













学校一覧、学級編制、児童・生徒数及び学級数、通学区域並びに通学区域緩和制度については、次のとおりです。













(1) 学校一覧

① 小学校

(2023年5月1日現在)

No	学校名	ホームページ	所在地	電話	開校年月日	開校記念日	校長名
1	町田第一小学校		中町1-20-30	042-722-3105	明6.5.1	6月11日	佐野 友隆
2	町田第二小学校		原町田4-26-40	042-722-3316	昭27.4.1	6月25日	永井 晋
3	町田第三小学校		本町田1212	042-722-3329	昭27.4.1	6月10日	若月 雅裕
4	町田第四小学校		森野2-21-28	042-722-3727	昭30.4.1	6月15日	山本 正則
5	町田第五小学校		玉川学園4-14-7	042-725-8178	昭38.4.1	6月1日	野村 洋介
6	町田第六小学校		南大谷1260	042-722-3659	昭40.4.1	6月1日	薄井 智美
7	南大谷小学校		南大谷811-1	042-725-2551	昭49.4.1	6月10日	鶴岡 武臣
8	藤の台小学校		藤の台3-1-1	042-726-1005	昭48.4.1	6月1日	長瀬 泰一郎
9	本町田東小学校		本町田3350	042-722-8193	昭45.4.1	6月22日	望月 伸悟
10	本町田小学校		本町田2032	042-721-5561	平14.4.1	6月24日	杉本 勉

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校 長 名
11	南第一小学校		南町田 1-10-1	042-795-2274	明 6. 6. 10	6月10日	安東 深雪
12	南第二小学校		成瀬 7-11-1	042-727-0805	明 6. 6. 1	6月1日	隅田 克思
13	南第三小学校		金森東 1-2-1	042-722-2663	昭 33. 4. 1	6月2日	工藤 成
14	南第四小学校		金森東 3-21-1	042-796-1326	昭 43. 4. 1	5月21日	貝原 俊明
15	つくし野小学校		つくし野 2-21-11	042-795-3295	昭 47. 4. 1	5月27日	山中 朗
16	小川小学校		小川 3-10-1	042-795-0002	昭 50. 4. 1	6月9日	安部 貴史
17	成瀬台小学校		成瀬台 2-5-2	042-723-3001	昭 50. 4. 1	6月10日	奥 明廣
18	鶴間小学校		鶴間 4-17-1	042-796-1951	昭 52. 4. 1	6月9日	浦木 義尚
19	高ヶ坂小学校		高ヶ坂 6-7-1	042-725-4295	昭 53. 4. 1	6月1日	岩崎 直美
20	成瀬中央小学校		成瀬 2-8	042-728-6020	昭 54. 4. 1	6月10日	坂西 圭子
21	南成瀬小学校		南成瀬 3-6	042-726-1080	昭 55. 4. 1	6月16日	吉成 美紀
22	南つくし野小学校		南つくし野 2-4-8	042-796-1950	昭 55. 4. 1	6月10日	平田 勇治













No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校 長 名
23	鶴川第一小学校		野津田町 1290	042-735-1234	明 41. 4. 1	10月6日	小林 繁
24	鶴川第二小学校		能ヶ谷 7-24-1	042-735-5498	昭 39. 5. 1	5月1日	鈴木 明子
25	鶴川第三小学校		鶴川 6-5	042-735-2127	昭 43. 1. 8	10月2日	鯨坂 映子
26	鶴川第四小学校		鶴川 3-22	042-735-2868	昭 46. 4. 1	6月20日	悴田 隆良
27	金井小学校		金井ヶ丘 1-30-1	042-735-0010	昭 53. 4. 1	6月1日	三瓶 昌信
28	大蔵小学校		大蔵町 286	042-734-2321	昭 55. 4. 1	6月16日	山崎 聡
29	三輪小学校		三輪町 330-1	044-988-5214	昭 57. 4. 1	6月7日	荻間 順子
30	忠生小学校		忠生 3-10-2	042-791-1021	大元. 9. 1	6月13日	三好 浩一
31	小山田小学校		上小山田町 614	042-797-1824	昭 27. 5. 20	5月20日	小澤 新也
32	忠生第三小学校		木曾東 3-11-3	042-791-0721	昭 37. 4. 1	6月12日	高綱 美穂
33	山崎小学校		忠生 2-15-26	042-793-2004	昭 55. 4. 1	6月10日	小澤 智幸
34	小山田南小学校		小山田桜台 2-7	042-797-4541	昭 59. 4. 1	5月30日	清水 淳

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校 長 名
35	木曾境川小学校		木曾西 1-9-1	042-791-2086	平 13. 4. 1	11月1日	新沼 聡
36	七国山小学校		山崎町 1314-2	042-791-2171	平 15. 4. 1	6月23日	山本 美紀
37	函師小学校		函師町 239-19	042-789-6361	平 21. 4. 1	1月30日	米山 哲也
38	小山小学校		小山町 944	042-797-2733	明 6. 5. 1	5月1日	土田 昇
39	小山ヶ丘小学校		小山ヶ丘 5-37	042-770-6251	平 17. 4 . 1	11月12日	大川 優
40	小山中央小学校		小山ヶ丘 3-7-1	042-798-0670	平 22. 4 . 1	1月29日	野末 直美
41	相原小学校		相原町 1673	042-771-2341	明 7. 7. 20	6月20日	百田 明弘
42	大戸小学校 (小中一貫ゆくのき学園)		相原町 3765-3	042-782-9091	昭 58. 4. 1	6月6日	鈴木 元

② 中学校

(2023年5月1日現在)

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校 長 名
1	町田第一中学校		中町 1-27-5	042-722-2420	昭 22. 4. 1	5月26日	風間 茂
2	町田第二中学校		南大谷 1327	042-722-1101	昭 32. 4. 1	5月6日	高橋 健志

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校 長 名
3	町田第三中学校		本町田 1853	042-722-6095	昭 43. 4. 1	5 月 27 日	大石 眞二
4	南大谷中学校		南大谷 985-1	042-723-5567	昭 50. 4. 1	5 月 27 日	小島 千恵
5	南中学校		金森 3-27-1	042-796-2248	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	薄井 忍
6	つくし野中学校		南つくし野 2-14-2	042-795-0323	昭 50. 9. 1	9 月 30 日	柳田 拓史
7	成瀬台中学校		成瀬台 2-5-1	042-728-6030	昭 54. 4. 1	5 月 26 日	福田 秀樹
8	南成瀬中学校		南成瀬 7-7-1	042-729-3441	昭 57. 4. 1	6 月 1 日	杉浦 元一
9	鶴川中学校		小野路町 1905-1	042-735-2405	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	鈴木 英顕
10	鶴川第二中学校		鶴川 6-4	042-734-4343	昭 48. 4. 1	6 月 1 日	花田 英樹
11	薬師中学校		金井 1-20-1	042-725-5002	昭 46. 4. 1	6 月 1 日	矢島 志津香
12	真光寺中学校		真光寺 3-8-1	042-734-4605	昭 55. 4. 1	5 月 1 日	矢島 加都美
13	金井中学校		金井 6-15-1	042-734-0259	昭 59. 4. 1	6 月 1 日	仙北屋 正樹
14	忠生中学校		忠生 3-14-1	042-791-0821	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	高橋 博幸

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校 長 名
15	山崎中学校		山崎町 1445	042-793-1021	昭 54. 4. 1	6 月 2 日	栗原 健次
16	木曾中学校		木曾西 2-4-9	042-792-3081	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	梶野 明信
17	小山田中学校		小山田桜台 1-12	042-797-4545	昭 59. 4. 1	6 月 25 日	岩田 哲生
18	小山中学校		小山ヶ丘 1-2-4	042-798-1251	平 24. 4. 1	1 月 11 日	土屋 敏彦
19	堺中学校		相原町 752	042-771-2348	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	工藤 憲治
20	武蔵岡中学校 (小中一貫ゆくのき学園)		相原町 3865	042-782-9155	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	鈴木 元

(2) 学級編制

小・中学校の学級編制については、毎年度、4月1日を基準日として、教育委員会が定める「学級編制基準」に基づき、行います。

町田市では、1985年度まで小・中学校全校において全学年を「45人学級」で編制していましたが、小学校においては1986年度から、中学校においては1989年度から、それぞれ第1学年を「40人学級」とし、1991年度からは、小・中学校の全学年を「40人学級」で編制することとしました。

以後、この「40人学級」での編制が続きましたが、2011年4月の「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の改正に伴い、東京都教育委員会の「学級編制基準」が改正され、2011年度から、小学校第1学年においては「35人学級」編制としました。

また、2012年度から小学校第2学年、2013年度から中学校第1学年においても「35人学級」編制としました。

さらに2022年度以降は小学校第3学年が、2023年度以降は小学校第4学年が「35人学級」編成に移行しました。今後も段階的に移行を進めていきます。

(3) 児童・生徒数及び学級数

市制が施行された1958年は、人口60,957人、小学校12校で児童数8,766人、中学校6校で生徒数3,460人でした。その後、高度経済成長期を迎え、都心から郊外へと人口移動がみられる中で、町田市は都心から比較的近距离であり、交通の利便性のあるベッドタウンとして注目され発展しました。とりわけ1960年代後半から1980年代前半にかけては、大規模集合住宅が相次いで建設され、急激な人口増加を生み、児童・生徒数は年々増え続け、児童数は1980年に36,928人(41校)、生徒数は1985年に17,689人(20校)と、それぞれピークに達しました(児童・生徒総数のピークは1982年の51,769人)。

その後、出生率の低下等により、児童・生徒数は減少傾向となりましたが、マンション建設や宅地開発等により、児童数は2001年度、生徒数は2006年度から再び増加傾向となりました。さらに、区画整理事業による市内周縁部の開発等により、地域によっては急激に児童・生徒数が増加してきました。

しかし、児童数は2011年度以降再び減少傾向に転じ、生徒数も、2017年度から減少傾向にあります。

2023年度の学級数及び児童・生徒数は、5月1日現在、小学校においては、通常の学級の学級666学級、児童数19,957人、特別支援学級76学級、児童数527人となっており、中学校においては、通常の学級285学級、生徒数9,883人、特別支援学級36学級、生徒数245人となっています。



2023年5月1日 児童・生徒数/学級数（通常の学級）

2023年5月1日	児童・生徒数/学級数	児 童 ・ 生 徒 数							学 級 数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童・生徒数/学級数	1 町田第一小学校	126	106	107	114	100	137	690	4	4	4	4	3	4	23
	2 町田第二小学校	67	65	70	53	68	55	378	2	2	2	2	2	2	12
	3 町田第三小学校	75	73	82	61	77	67	435	3	3	3	2	2	2	15
	4 町田第四小学校	96	78	87	103	77	96	537	3	3	3	3	2	3	17
	5 町田第五小学校	63	104	84	104	93	86	534	2	3	3	3	3	3	17
	6 町田第六小学校	65	55	63	37	46	43	309	2	2	2	2	2	2	12
	7 南大谷小学校	104	115	88	91	92	97	587	3	4	3	3	3	3	19
	8 藤の台小学校	52	75	54	74	74	57	386	2	3	2	3	2	2	14
	9 本町田東小学校	32	28	39	32	44	30	205	1	1	2	1	2	1	8
	10 本町田小学校	60	65	61	56	76	51	369	2	2	2	2	2	2	12
	11 南第一小学校	104	128	106	111	117	105	671	3	4	4	4	3	3	21
	12 南第二小学校	59	50	51	56	53	56	325	2	2	2	2	2	2	12
	13 南第三小学校	56	57	66	63	79	67	388	2	2	2	2	2	2	12
	14 南第四小学校	98	89	95	77	103	74	536	3	3	3	3	3	2	17
	15 つくし野小学校	58	42	70	67	63	55	355	2	2	2	2	2	2	12
	16 小川小学校	60	70	72	72	67	77	418	2	2	3	3	2	2	14
	17 成瀬台小学校	90	99	102	106	106	118	621	3	3	3	3	3	3	18
	18 鶴間小学校	100	100	109	95	89	107	600	3	3	4	3	3	3	19
	19 高ヶ坂小学校	49	52	48	58	58	53	318	2	2	2	2	2	2	12
	20 成瀬中央小学校	59	71	59	57	59	52	357	2	3	2	2	2	2	13
	21 南成瀬小学校	51	60	54	47	64	69	345	2	2	2	2	2	2	12
	22 南つくし野小学校	129	142	146	127	136	98	778	4	5	5	4	4	3	25
	23 鶴川第一小学校	96	130	107	111	123	123	690	3	4	4	4	4	4	23
	24 鶴川第二小学校	77	76	75	83	83	76	470	3	3	3	3	3	2	17
	25 鶴川第三小学校	47	59	75	77	62	61	381	2	2	3	3	2	2	14
	26 鶴川第四小学校	60	71	80	65	79	91	446	2	3	3	2	2	3	15
	27 金井小学校	77	91	84	83	99	96	530	3	3	3	3	3	3	18
	28 大蔵小学校	97	104	97	114	101	135	648	3	3	3	4	3	4	20
	29 三輪小学校	71	81	67	74	94	85	472	2	3	2	3	3	3	16
	30 忠生小学校	68	67	83	57	58	59	392	2	2	3	2	2	2	13
	31 小山田小学校	25	37	28	36	44	44	214	1	2	1	2	2	2	10
	32 忠生第三小学校	90	100	105	98	89	109	591	3	3	3	3	3	3	18
	33 山崎小学校	56	43	65	66	53	56	339	2	2	2	2	2	2	12
	34 小山田南小学校	81	91	77	88	87	89	513	3	3	3	3	3	3	18
	35 木曾境川小学校	84	56	63	80	70	78	431	3	2	2	3	2	2	14
	36 七国山小学校	77	73	70	78	85	103	486	3	3	2	3	3	3	17
	37 図師小学校	69	86	83	84	100	79	501	2	3	3	3	3	2	16
	38 小山小学校	98	115	107	132	110	130	692	3	4	4	4	3	4	22
	39 小山ヶ丘小学校	124	159	123	129	144	161	840	4	5	4	4	4	5	26
	40 小山中央小学校	108	131	107	116	121	119	702	4	4	4	4	4	3	23
	41 相原小学校	47	55	64	59	66	62	353	2	2	2	2	2	2	12
	42 小中一貫ゆくのき学園(大戸小学校)	16	17	28	23	19	21	124	1	1	1	1	1	1	6
	計	3,121	3,366	3,301	3,314	3,428	3,427	19,957	105	117	115	115	107	107	666
通常の学級	1 町田第一中学校	242	251	235				728	7	7	6				20
	2 町田第二中学校	142	146	163				451	5	4	5				14
	3 町田第三中学校	136	145	125				406	4	4	4				12
	4 南大谷中学校	165	161	164				490	5	5	5				15
	5 南中学校	228	247	225				700	7	7	6				20
	6 つくし野中学校	274	238	237				749	8	6	6				20
	7 成瀬台中学校	145	157	144				446	5	4	4				13
	8 南成瀬中学校	164	148	164				476	5	4	4				13
	9 鶴川中学校	211	161	206				578	6	5	6				17
	10 鶴川第二中学校	209	246	268				723	6	7	7				20
	11 薬師中学校	97	109	99				305	3	3	3				9
	12 真光寺中学校	82	78	86				246	3	2	3				8
	13 金井中学校	165	135	144				444	5	4	4				13
	14 忠生中学校	221	245	218				684	6	7	6				19
	15 山崎中学校	101	101	106				308	3	3	3				9
	16 木曾中学校	97	105	107				309	3	3	3				9
	17 小山田中学校	124	166	149				439	4	5	4				13
	18 小山中学校	249	279	243				771	8	7	7				22
	19 堺中学校	210	183	174				567	6	5	5				16
	20 小中一貫ゆくのき学園(武蔵岡中学校)	11	29	23				63	1	1	1				3
	計	3,273	3,330	3,280				9,883	100	93	92				285

2023年5月1日 児童・生徒数/学級数（特別支援学級）

		種別	児 童 ・ 生 徒 数							学級数	
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
2023年5月1日現在 児童・生徒数/学級数 (特別支援学級)	1	町田第一小学校	知的	1	2	7	2	2	3	17	3
		情緒	4	3	5	4	2	3	21	3	
	2	町田第二小学校	知的	3	2	3	5	5	5	23	3
	5	町田第五小学校	知的	1	1	1	1	0	1	5	1
	6	町田第六小学校	肢体	2	1	3	2	1	3	12	2
	7	南大谷小学校	知的	2	2	5	5	5	8	26	4
	8	藤の台小学校	知的	1	3	3	3	4	7	21	3
	10	本町田小学校	知的	4	4	5	6	5	5	29	4
			情緒	6	4	8	8	5	6	37	5
	12	南第二小学校	知的	4	4	5	3	4	4	24	3
	14	南第四小学校	知的	1	7	2	2	5	6	23	3
			情緒	2	4	3	3	4	1	17	3
	22	南つくし野小学校	知的	2	1	4	3	2	4	16	2
	24	鶴川第二小学校	知的	3	0	1	3	5	0	12	2
	26	鶴川第四小学校	知的	2	3	3	3	6	3	20	3
			情緒	1	2	4	6	5	4	22	3
	27	金井小学校	知的	6	1	2	4	5	5	23	3
	30	忠生小学校	知的	1	2	2	3	4	4	16	2
			情緒	1	0	0	2	0	8	11	2
	34	小山田南小学校	知的	3	2	3	5	7	4	24	3
	35	木曾境川小学校	知的	3	2	2	3	2	3	15	2
	36	七国山小学校	知的	2	4	2	4	5	6	23	3
	38	小山小学校	知的	2	3	5	5	7	3	25	4
	39	小山ヶ丘小学校	知的	2	4	2	1	5	4	18	3
	40	小山中央小学校	知的	1	3	2	2	2	4	14	2
			情緒	1	3	3	4	0	1	12	2
	41	相原小学校	知的	2	2	3	2	7	4	20	3
	計			63	69	88	94	104	109	527	76
	1	町田第一中学校	知的	6	11	8				25	4
			肢体	1	2	0				3	1
3	町田第三中学校	情緒	7	8	0				15	2	
4	南大谷中学校	知的	6	3	8				17	2	
5	南中学校	知的	7	7	4				18	3	
6	つくし野中学校	知的	8	5	7				20	3	
7	成瀬台中学校	知的	5	4	2				11	2	
9	鶴川中学校	知的	3	8	8				19	3	
11	薬師中学校	知的	8	8	7				23	3	
14	忠生中学校	知的	14	23	10				47	6	
15	山崎中学校	知的	6	5	8				19	3	
19	堺中学校	知的	9	11	8				28	4	
計			80	95	70				245	36	

2023年5月1日 児童数/学級数（通級指導学級等）

	種別	児 童 数							学級数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
町田第一小学校	特別支援教室	8	18	6	7	2	6	47	
町田第二小学校	特別支援教室	7	3	7	3	5	2	27	
町田第三小学校	特別支援教室	5	8	4	4	5	2	28	
町田第四小学校	特別支援教室	3	5	9	18	7	5	47	
町田第五小学校	特別支援教室		4	1	8	3	1	17	
町田第六小学校	特別支援教室	5	5	3	4		2	19	
南大谷小学校	特別支援教室	8	9	11	6	3	5	42	
藤の台小学校	特別支援教室	1	4	5	7	4	2	23	
本町田東小学校	特別支援教室	1	4	4	2	6		17	
	弱 視			1	1	3	3	8	1
	難 聴	1		1		3	2	7	1
	言 語	16	12	7	2			37	2
本町田小学校	特別支援教室	5	5	5	4	9		28	
南第一小学校	特別支援教室	4	6	10	2	3	4	29	
南第二小学校	特別支援教室	4	4	8	1	3	2	22	
南第三小学校	特別支援教室	6	10	7	6	8	5	42	
南第四小学校	特別支援教室	12	5	5	6	4	8	40	
つくし野小学校	特別支援教室	3	1	5	6	2	1	18	
小川小学校	特別支援教室	3	10	8	9		3	33	
成瀬台小学校	特別支援教室	4	6	8	6	1	5	30	
鶴間小学校	特別支援教室	7	7	2	3			19	
高ヶ坂小学校	特別支援教室	3	10	2	2	9	2	28	
成瀬中央小学校	特別支援教室	6	3	6	2	7	5	29	
	言 語	9	7	9	2	4	1	32	2
南成瀬小学校	特別支援教室	3	5	14	4	11	9	46	
南つくし野小学校	特別支援教室	4	16	10	9	7	2	48	
鶴川第一小学校	特別支援教室	2	2	6	9	5	1	25	
鶴川第二小学校	特別支援教室	2	2	2	4	2	1	13	
鶴川第三小学校	特別支援教室		4	8	1	3	5	21	
鶴川第四小学校	特別支援教室	6	3	8	4	3	2	26	
金井小学校	特別支援教室	3	4	4	3	4	1	19	
大蔵小学校	特別支援教室	6	7	5	11	9	5	43	
三輪小学校	特別支援教室	1	2	2	7	6	4	22	
忠生小学校	特別支援教室	5	3	6	4	2	1	21	
小山田小学校	特別支援教室		3	2		1	3	9	
忠生第三小学校	特別支援教室	8	12	9	16	6	17	68	
山崎小学校	特別支援教室	4	5	17	11	4	5	46	
	難 聴		1		1	2	1	5	1
小山田南小学校	特別支援教室	1	7	7	4	5		24	
木曾境川小学校	特別支援教室	4	6	9	11	3	1	34	
七国山小学校	特別支援教室	7	7	13	4	2	8	41	
函師小学校	特別支援教室	5	6	11	7	6	4	39	
小山小学校	特別支援教室	5	4	11	11	8	5	44	
小山ヶ丘小学校	特別支援教室	6	5	8	5	1	1	26	
小山中央小学校	特別支援教室	5	10	9	8	12	6	50	
相原小学校	特別支援教室	5	5	4		2		16	
大戸小学校	特別支援教室	3	2	7		1		13	
	計	206	267	306	245	196	148	1,368	

2023年5月1日現在 児童数/学級数
(通級指導学級等)

2023年5月1日 生徒数/学級数（通級指導学級等）

	種別	生徒数							学級数	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
2023年5月1日現在 （通級指導学級等） 生徒数/学級数	町田第一中学校	特別支援教室	8	5	7				20	1
		難聴	2	3	3				8	
		特別支援教室	3	5	11				19	
	町田第二中学校	特別支援教室	11	7	8				26	
	南大谷中学校	特別支援教室	4	9	1				14	
	南中学校	特別支援教室	9	19	9				37	
	つくし野中学校	特別支援教室	7	8	2				17	
	成瀬台中学校	特別支援教室	4	10	3				17	
	南成瀬中学校	特別支援教室	8	6	3				17	
	鶴川中学校	特別支援教室	9	5	3				17	
	鶴川第二中学校	特別支援教室	5	10	2				17	
	薬師中学校	特別支援教室	3	6	6				15	
	真光寺中学校	特別支援教室	1	10	4				15	
	金井中学校	特別支援教室	2	4	1				7	
	忠生中学校	特別支援教室	9	4	11				24	
	山崎中学校	特別支援教室	4	6	4				14	
	木曾中学校	特別支援教室	4	10	6				20	
	小山田中学校	特別支援教室	2	5	6				13	
	小山中学校	特別支援教室	10	13	14				37	
	堺中学校	特別支援教室	1	5	8				14	
武蔵岡中学校	特別支援教室	0	4	3				7		
	計		106	154	115				375	

※1・・・種別欄の「特別支援教室」は、情緒障がい等のある児童・生徒を対象とし、各学校に指導を行うための教室を設置し、教員が児童・生徒の在籍校を巡回して指導を行うものです。町田市では、2021年度に全ての小・中学校に設置が完了しました。なお、特別支援教室については、学級数としてのカウントを行わないため、学級数に斜線を引いています。

※2・・・通級指導学級等の在籍児童・生徒は、平常は通常の学級で勉強し、特定の時間だけ、通級指導学級等で指導を受けているため、学級編制上は通常の学級の人数としてカウントされます。

児童・生徒数・学級数の推移（通常の学級）

（各年5月1日現在）

年度	小 学 校			中 学 校			合 計		
	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数	学校数	学級数	児童・生徒数
1989	44	721	24,855	20	370	14,763	64	1,091	39,618
1990	44	719	24,162	20	355	13,520	64	1,074	37,682
1991	44	711	23,376	20	350	12,912	64	1,061	36,288
1992	44	698	22,699	20	333	12,221	64	1,031	34,920
1993	44	681	22,171	20	313	11,512	64	994	33,683
1994	44	672	21,605	20	303	11,047	64	975	32,652
1995	44	655	20,968	20	291	10,554	64	946	31,522
1996	44	638	20,104	20	291	10,420	64	929	30,524
1997	44	613	19,444	20	281	10,110	64	894	29,554
1998	44	613	19,062	20	275	9,892	64	888	28,954
1999	44	604	18,747	20	262	9,471	64	866	28,218
2000	44	600	18,675	20	257	9,182	64	857	27,857
2001	43	603	18,831	20	252	8,893	63	855	27,724
2002	41	616	19,411	20	247	8,725	61	863	28,136
2003	39	628	20,013	20	241	8,453	59	869	28,466
2004	39	639	20,582	20	240	8,287	59	879	28,869
2005	40	656	21,418	20	236	8,215	60	892	29,633
2006	40	669	21,973	20	242	8,393	60	911	30,366
2007	40	686	22,572	20	244	8,660	60	930	31,232
2008	40	696	23,111	20	255	9,091	60	951	32,202
2009	41	710	23,398	20	259	9,235	61	969	32,633
2010	42	715	23,687	20	265	9,444	62	980	33,131
2011	42	720	23,554	19	272	9,732	61	992	33,286
2012	42	735	23,407	20	281	10,076	62	1,016	33,483
2013	42	726	23,259	20	291	10,398	62	1,017	33,656
2014	42	724	23,020	20	294	10,576	62	1,018	33,596
2015	42	712	22,740	20	301	10,696	62	1,013	33,436
2016	42	714	22,476	20	301	10,700	62	1,015	33,176
2017	42	708	22,347	20	293	10,395	62	1,001	32,742
2018	42	695	21,957	20	290	10,263	62	985	32,220
2019	42	684	21,538	20	286	10,078	62	970	31,616
2020	42	674	21,064	20	289	10,103	62	963	31,167
2021	42	661	20,727	20	289	10,036	62	950	30,763
2022	42	671	20,451	20	285	9,999	62	956	30,450
2023	42	666	19,957	20	285	9,883	62	951	29,840

児童・生徒数・学級数の推移（特別支援学級）

（各年5月1日現在）

年度	小 学 校		中 学 校		合 計	
	学級数	児童数	学級数	生徒数	学級数	児童・生徒数
1989	29	116	14	87	43	203
1990	30	113	13	67	43	180
1991	30	120	13	63	43	183
1992	30	123	14	61	44	184
1993	31	130	12	62	43	192
1994	35	123	12	62	47	185
1995	36	119	16	66	52	185
1996	36	139	16	68	52	207
1997	38	145	15	64	53	209
1998	36	152	15	67	51	219
1999	37	146	17	77	54	223
2000	38	160	21	86	59	246
2001	39	160	20	93	59	253
2002	31	167	15	85	46	252
2003	36	199	15	81	51	280
2004	37	222	16	98	53	320
2005	41	246	17	104	58	350
2006	44	268	22	125	66	393
2007	51	299	20	120	71	419
2008	48	302	23	148	71	450
2009	48	312	27	179	75	491
2010	51	320	30	209	81	529
2011	51	314	34	221	85	535
2012	51	318	31	205	82	523
2013	52	331	30	197	82	528
2014	53	332	29	184	82	516
2015	55	347	30	192	85	539
2016	65	402	29	202	94	604
2017	67	434	32	213	99	647
2018	64	451	31	212	95	663
2019	70	489	32	219	102	708
2020	73	509	35	237	108	746
2021	77	517	35	232	112	749
2022	75	508	37	253	112	761
2023	76	527	36	245	112	772

(4) 通学区域

小・中学校では、住所により通学する学校（指定校）が定められています。これは、市内に小学校または中学校が2校以上あるときには、就学すべき学校を指定しなければならないとする学校教育法施行令第5条第2項の規定を根拠としています。この指定された学校に通学すべき地域を通学区域といいます。

(5) 通学区域緩和制度

通学区域緩和制度（2013年度から名称変更）は、入学に際し、保護者やお子さんが通学区域により指定された学校（指定校）以外の小・中学校への入学を希望できる制度です。希望できる対象学年は、翌年度に入学する新小学1年生、新中学1年生で、2年生以上の児童・生徒は対象になりません。

町田市では2004年4月入学者から、通学区域緩和制度の前身である学校選択制度を実施していましたが、2011年7月に「町田市立学校選択制度等検討委員会」を発足し、制度の在り方について再検討を行いました。

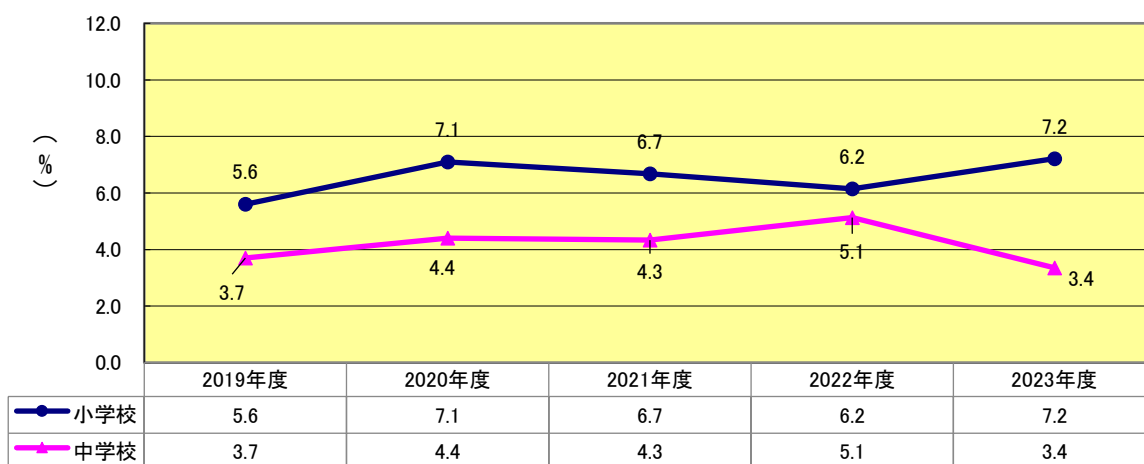
その結果、児童の通学上の安全を確保するために、小学校については、入学希望校を居住地に関わらず自由に選択できる自由選択制から、指定校の隣接校もしくは通学距離が片道1.5km未満の学校とする隣接区域選択制への変更等を行い、名称を現在の「通学区域緩和制度」に改め、2013年度入学者から運用を開始しています。

2004年度の制度発足以来、多くの児童・生徒がこの制度により希望の小・中学校に入学しています。

入学児童・生徒数と通学区域緩和制度（旧学校選択制度）利用者数（人）（各年度入学時点）

区分		年度				
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
新小学 1年生	入学児童数	3,368	3,263	3,263	3,349	3,105
	うち制度利用者数	187	233	218	206	224
新中学 1年生	入学生徒数	3,354	3,367	3,255	3,314	3,250
	うち制度利用者数	124	147	141	170	109

通学区域緩和制度利用率の推移



2. 教育環境

子どもたちの学校生活や学習活動をより充実させるため、学校施設や学校図書館などの教育環境の整備を進めています。

(1) 学校施設

① 学校施設一覧

(2023年5月1日現在)

小学校	体育館		25mプール		校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨外	合計	普通	特別
町田第一小学校	平 14. 9	1,259	平 14. 9	10	11,698	4,958	645	5,603	28	14
町田第二小学校	昭 48. 3	668	昭 44. 7	11	10,312	4,330	74	4,404	15	13
町田第三小学校	昭 49. 11	684	昭 46. 7	12	13,892	4,823	406	5,229	15	15
町田第四小学校	昭 49. 6	691	昭 44. 7	13	15,677	5,490	85	5,575	17	21
町田第五小学校	昭 48. 3	681	昭 44. 7	9	12,426	5,314	46	5,360	21	15
町田第六小学校	昭 47. 3	701	昭 44. 7	10	15,702	5,559	151	5,710	15	16
南大谷小学校	昭 51. 9	706	昭 49. 7	10	14,099	5,258	192	5,450	22	12
藤の台小学校	昭 49. 11	726	昭 48. 7	10	13,322	5,835	92	5,927	19	17
本町田東小学校	昭 49. 5	736	昭 46. 7	10	16,771	5,706	17	5,723	8	23
※ ¹ 本町田小学校	(昭 53. 6)	659	(昭 52. 6)	10	17,509	5,746	172	5,918	21	15
南第一小学校	昭 46. 2	675	昭 57. 3	10	13,650	5,687	55	5,742	21	12
南第二小学校	昭 53. 7	743	昭 54. 3	10	16,500	5,956	62	6,018	15	14
南第三小学校	昭 49. 9	723	昭 52. 6	10	11,531	4,964	79	5,043	12	20
南第四小学校	昭 48. 10	678	昭 44. 7	10	15,825	5,323	331	5,654	21	16
つくし野小学校	昭 48. 3	668	昭 46. 7	10	15,197	4,156	106	4,262	12	11
小川小学校	昭 52. 8	703	昭 50. 7	10	16,076	5,776	51	5,827	14	21
成瀬台小学校	昭 52. 7	703	昭 50. 6	10	16,513	6,483	85	6,568	18	21
鶴間小学校	昭 53. 7	710	昭 52. 6	10	19,916	5,115	361	5,476	21	11
高ヶ坂小学校	昭 54. 5	683	昭 53. 6	10	18,639	3,656	948	4,604	12	11
成瀬中央小学校	昭 55. 3	682	昭 54. 6	10	16,509	4,720	169	4,889	13	9
南成瀬小学校	昭 55. 5	780	昭 55. 6	10	16,228	6,139	13	6,152	12	23
南つくし野小学校	昭 55. 3	694	昭 55. 5	10	14,653	6,166	13	6,179	29	10
鶴川第一小学校	平 31. 3	1198	昭 44. 8	10	19,362	7,450	0	7,450	25	18
鶴川第二小学校	昭 48. 2	668	昭 41. 6	10	21,571	5,442	1,110	6,552	20	17
鶴川第三小学校	昭 49. 11	724	昭 44. 8	10	19,828	6,846	27	6,873	15	33
鶴川第四小学校	昭 49. 12	724	昭 46. 7	10	19,829	6,634	91	6,725	23	19
金井小学校	昭 53. 5	708	昭 53. 7	10	16,072	5,361	71	5,432	20	11
大蔵小学校	昭 55. 3	695	昭 55. 7	10	19,223	5,394	1,119	6,513	20	18
三輪小学校	昭 57. 7	725	昭 57. 7	10	13,812	4,364	662	5,026	16	14

小学校	体育館		25mプール		校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨外	合計	普通	特別
※ ² 忠生小学校	昭 47. 3	668	昭 45. 9	10	14,228	5,234	1,391	6,625	21	20
小山田小学校	昭 55.11	888	昭 55.10	10	18,617	4,157	782	4,939	10	13
忠生第三小学校	昭 51. 6	689	昭 44. 7	10	13,138	5,586	82	5,668	18	20
山崎小学校	昭 55. 3	732	昭 55. 6	10	16,299	5,236	141	5,377	12	14
小山田南小学校	昭 59. 3	710	昭 59. 5	10	17,833	6,321	670	6,991	21	18
※ ¹ 木曾境川小学校	(昭 53. 5)	681	(昭 52. 6)	10	16,735	5,501	225	5,726	17	14
※ ¹ 七国山小学校	(昭 51. 3)	653	(昭 51. 6)	10	22,772	4,914	1,294	6,208	24	13
函師小学校	平 21. 3	1,161	平 21. 3	11.4	20,542	7,043	0	7,043	19	21
小山小学校	昭 51. 9	714	昭 53. 6	10	20,716	6,433	301	6,734	26	17
小山ヶ丘小学校	平 17. 3	1,045	平 17. 3	10	15,743	8,402	0	8,402	28	18
小山中央小学校	平 22. 2	1,101	平 22. 2	11.2	29,125	8,236	756	8,992	28	21
相原小学校	昭 48. 3	668	昭 61. 5	10	13,246	5,965	33	5,998	14	20
※ ³ 大戸小学校	昭 58. 4	753	昭 58. 5	10	26,738	5,436	0	5,436	9	19

※¹ 学校適正規模適正配置事業による統合校です。()内は、統今年月ではなく、旧施設が完成した年月です。

※² 忠生第一小学校は、2011年9月1日から、校名を忠生小学校に変更しました。

※³ 大戸小学校は小中一貫校(大戸小学校と武蔵岡中学校をあわせて「ゆくのき学園」)として整備したため、大戸小学校の教室数には中学校で使用している教室も含まれます。

(2023年5月1日現在)

中学校	体育館		25mプール		校地 面積 (㎡)	校舎面積(㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨外	合計	普通	特別
町田第一中学校	平 4. 8	1,366	平 4. 8	11	15,112	11,830	106	11,936	27	30
町田第二中学校	昭 57. 3	976	昭 43. 8	11	17,684	6,562	208	6,770	14	26
町田第三中学校	昭 47. 3	702	昭 44.12	11	14,196	5,470	78	5,548	14	22
南大谷中学校	昭 51. 7	944	昭 50. 6	11	19,026	6,263	92	6,355	14	20
南中学校	平 11. 2	1,924	平 11. 2	11	24,928	7,099	94	7,193	23	23
つくし野中学校	昭 51. 6	983	昭 51. 7	11	16,527	7,676	141	7,817	25	23
成瀬台中学校	昭 54. 5	992	昭 54. 6	11	16,502	8,231	143	8,374	15	28
南成瀬中学校	昭 57. 3	1,084	昭 57. 3	11	19,962	6,667	0	6,667	13	26
鶴川中学校	平 14. 1	1,293	平 14. 1	11	19,656	10,821	82	10,903	19	26
鶴川第二中学校	昭 48.10	772	昭 48. 8	11	16,520	7,490	146	7,636	20	20
薬師中学校	昭 47. 3	710	昭 46. 7	11	20,048	6,539	83	6,622	13	21
真光寺中学校	昭 55. 5	947	昭 55. 6	11	17,940	6,179	148	6,327	8	19
金井中学校	昭 59. 5	1,048	昭 59. 5	11	20,323	5,385	213	5,598	13	17

中学校	体育館		25m プール		校地 面積 (㎡)	校舎面積(㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨 外	合計	普通	特別
忠生中学校	平 5. 8	2,206	平 5. 8	11	22,021	7,966	86	8,052	26	22
山崎中学校	昭 54. 5	1,005	昭 54. 6	11	22,042	6,813	160	6,973	14	20
木曾中学校	昭 58. 3	1,031	昭 58. 5	11	21,613	6,455	0	6,455	10	20
小山田中学校	昭 59. 3	1,085	昭 59. 3	11	21,274	5,312	949	6,261	13	21
小山中学校	平 24. 2	1,231	平 24. 2	13	26,148	9,361	0	9,361	22	25
堺中学校	平 20. 2	1,234	平 20. 2	11	14,907	7,600	66	7,666	20	19
武蔵岡中学校	昭 58. 5	904	昭 58. 5	11	29,574	3842	0	3,842	0	11

② 学校施設の整備

小・中学校の耐震補強工事が 2010 年度に完了し、学校施設の耐震化率は 100%になりました。2011 年度以降は、学習環境の改善を目的として、トイレ改修や航空機騒音軽減のための施設の防音化、普通教室や特別教室への空調機設置を進めるとともに、防災機能の強化を目的として、体育館等の高所に設置された設備等の落下防止を進めてきました。2019 年度からは、児童・生徒の熱中症対策と教育環境の改善及び避難施設の環境整備を図るため、体育館に空調設備を設置するとともに、避難施設の機能向上を図るため、非常用発電設備等の設置や体育館アリーナ照明の LED 化を進め、2021 年度に小中学校全 62 校への設置が完了しました。

改築事業では、2019 年度に鶴川第一小学校、2021 年度に町田第一中学校（校舎）で事業が完了し、2022 年度からは新たな学校づくり推進計画及び町田市立学校個別施設計画学校整備計画編に基づき、学校統合や老朽化した校舎等の建替えに向けた準備を進めています。

改修事業では、施設の老朽化対策を目的に、2019 年度から 2022 年度にかけて、校舎外壁や屋上防水等の校舎外回りを中心とした中規模改修工事を小・中学校 2 学校で実施しました。また、2021 年度から 2 カ年にわたり、施設の防音化対策の一環として中学校 1 校で老朽化した空調設備の更新工事を行いました。

加えて、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数標準に関する法律」の一部改正により 40 人学級から 35 人学級への対応が必要となったため、小学校 1 校で校舎の増築工事を実施しました。

2022 年度 主な整備実績

工事内容	小学校	中学校
中規模改修工事	鶴間小学校	成瀬台中学校
空調更新工事(復旧防音工事)		町田第二中学校
校舎増築工事	町田第一小学校	

③ 学校施設増改築のあゆみ

※建築面積とは保有面積のことであり、数値は建築時のものです。

学校名	1期			2期			3期			4期			5期			
	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室
町田第一小学校	昭44.7	給(140) 3,947㎡	26	4	平14.9	1,032㎡	0	3	令5.3	608㎡	4	1				
町田第二小学校	昭40.3	1,819㎡	12	3	昭45.8	給(144) 1,600㎡	9	1	昭47.9	370㎡	訪問学級	2	昭55.8	911㎡	4	2
町田第三小学校	昭41.3	747㎡	4	2	昭43.7	571㎡	6	0	昭45.10	給(146) 1,782㎡	10	1	昭49.11	1,857㎡	7	4
町田第四小学校	昭46.5	1,244㎡	11	0	昭47.9	給(200) 1,236㎡	5	0	昭48.1	1,826㎡	11	4	昭49.6	1,198㎡	5	3
町田第五小学校	昭42.3	630㎡	6	0	昭45.6	604㎡	3	3	昭51.8	2,907㎡	12	3	昭52.12	給(271) 1,139㎡	6	2
町田第六小学校	昭40.3	1,819㎡	12	3	昭41.12	659㎡	3	0	昭42.9	給(151) 451㎡	5	0	昭44.6	941㎡	8	0
南大谷小学校	昭48.12	給(293) 3,820㎡	20	4	昭51.9	1,438㎡	5	3								
藤の台小学校	昭48.3	給(347) 4,007㎡	22	5	昭49.11	1,578㎡	7	4	昭51.6	370㎡	4	0				
本町田東小学校	昭45.7	2,349㎡	12	3	昭46.3	1,311㎡	9	1	昭48.7	1,368㎡	11	0	昭49.5	678㎡	0	4
本町田小学校	昭52.5	給(344) 5,918㎡	18	11												
南第一小学校	昭41.3	1,820㎡	10	4	昭44.2	507㎡	6	0	昭45.8	909㎡	8	0	昭54.9	給(265) 2,626㎡	4	4
南第二小学校	昭53.7	給(307) 6,018㎡	25	6												
南第三小学校	昭46.3	1,185㎡	11	0	昭47.8	給(204) 488㎡	3	0	昭48.5	889㎡	5	1	昭49.9	2,402㎡	8	5
南第四小学校	昭42.2	766㎡	4	2	昭42.10	1,260㎡	11	0	昭44.10	給(144) 960㎡	4	1	昭48.3	1,385㎡	7	2
つくし野小学校	昭46.3	1,147㎡	6	1	昭47.3	給(163) 1,511㎡	9	2	昭49.10	1,711㎡	11	3				
小川小学校	昭50.3	3,025㎡	13	3	昭51.6	1,029㎡	7	0	昭52.8	666㎡	0	4	昭53.8	1,149㎡	8	3
成瀬台小学校	昭50.3	2,771㎡	11	3	昭51.5	1,846㎡	11	1	昭52.7	666㎡	0	4	昭53.8	1,413㎡	15	0
鶴間小学校	昭52.3	3,814㎡	15	5	昭53.7	1,554㎡	6	0	昭62.2	給(223)						
高ヶ坂小学校	昭53.5	3,799㎡	12	5	昭55.3	給(181)			平3.3	424㎡	0	1				
成瀬中央小学校	昭54.5	給(333) 5,088㎡	20	5												
南成瀬小学校	昭55.5	給(255) 6,127㎡	25	9												
南つくし野小学校	昭55.5	給(254) 6,461㎡	26	8												

学 校 名	1 期			2 期			3 期			4 期			5 期			
	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室
鶴川第一小学校	平28.3	7,367㎡	26	15	平30.3	給(485)										
鶴川第二小学校	昭48.10	1,738㎡	13	1	昭49.11	1,875㎡	10	2	昭51.6	1,730㎡	3	3	平20.3	1,119㎡	4	2
鶴川第三小学校	昭42.9	2,268㎡	12	2	昭44.11	874㎡	8	0	昭47.3	1,858㎡	7	4	昭49.11	1,983㎡	8	6
鶴川第四小学校	昭46.3	3,308㎡	20	3	昭48.3	給(238) 1,665㎡	8	3	昭49.12	666㎡	0	4	昭50.6	1,178㎡	8	0
金井小学校	昭53.3	給(293) 5,432㎡	24	5												
大蔵小学校	昭55.5	給(252) 5,554㎡	25	5	平17.11	132㎡	0	1	平19.3	443㎡	4	2	平19.3	891㎡	4	2
三輪小学校	昭57.7	給(256) 4,349㎡	15	6	昭4.2	662㎡	4	1								
忠生小学校	昭42.1	1,406㎡	14	0	昭43.7	1,245㎡	4	2	昭45.6	781㎡	5	1	昭48.7	1,803㎡	6	4
小山田小学校	昭55.11	給(220) 4,157㎡	11	5	昭63.3	179㎡	2	0	平18.3	498㎡	2	2				
忠生第三小学校	昭49.11	2,626㎡	20	0	昭52.12	給(250) 2,882㎡	10	7								
山崎小学校	昭55.5	給(257) 5,377㎡	21	6												
小山田南小学校	昭59.3	給(244) 4,845㎡	18	5	昭60.3	1,688㎡	9	2	昭62.3	406㎡	2	1				
木曾境川小学校	平14.3	給(428) 6,407㎡	13	11												
七国山小学校	平16.3	給(395) 6,273㎡	20	9												
図師小学校	平21.3	給(394) 7,043㎡	17	19												
小山小学校	昭51.9	給(257) 5,237㎡	23	6	昭57.3	1,303㎡	8	2	平31.4	181㎡	2	0				
小山ヶ丘小学校	平17.3	給(505) 8,402㎡	26	15												
小山中央小学校	平22.2	給(485) 8,236㎡	22	17	平29.4	756㎡	4	1								
相原小学校	昭44.3	900㎡	8	0	昭46.3	488㎡	6	0	昭51.6	2,192㎡	10	4	昭52.12	給(389) 2,439㎡	6	3
大戸小学校	昭58.5	給(251) 4,967㎡	18	6	平5.12	473㎡	2	0								

学 校 名	6期		
	年月	建築面積	普通 教室
南第四小学校	平15.3	給(88) 167㎡	
忠生小学校	平16.3	給(93) 1,338㎡	6

学校名	1期			2期			3期			4期			5期			
	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室
町田第一中学校	令4.1 (改築)	11,936㎡	31	28												
町田第二中学校	昭47.12	1,445㎡	9	1	昭49.1	2,041㎡	14	3	昭50.12	3,052㎡	1	13				
町田第三中学校	昭43.3	2,981㎡	12	8	昭46.3	749㎡	6	0	昭47.3	683㎡	0	4	昭49.5	1,021㎡	6	2
南大谷中学校	昭50.3	4,289㎡	18	7	昭51.7	784㎡	0	4	昭51.9	1,344㎡	7	0				
南中学校	昭43.8	762㎡	9	0	昭46.3	1,226㎡	6	2	昭47.3	2,116㎡	13	1	昭52.9	2,605㎡	4	9
つくし野中学校	昭50.7	4,643㎡	17	8	昭53.8	2,164㎡	10	4	昭61.1	1,010㎡	3	3				
成瀬台中学校	昭54.5	5,987㎡	23	10	昭56.5	1,242㎡	10	1	昭61.5	1,145㎡	0	5				
南成瀬中学校	昭57.3	6,700㎡	30	9												
鶴川中学校	平13.1	5,369㎡	13	18	平29.4	82㎡	1	0								
鶴川第二中学校	昭48.3	3,123㎡	15	3	昭48.10	818㎡	0	4	昭50.7	1,355㎡	8	2	昭57.3	2,269㎡	7	4
栗師中学校	昭46.3	3,378㎡	12	7	昭47.3	692㎡	0	4	昭50.7	1,026㎡	7	1	昭55.3	1,492㎡	12	0
真光寺中学校	昭55.5	6,327㎡	21	10												
金井中学校	昭59.5	5,403㎡	15	9	平30.4	181㎡	2	0								
忠生中学校	昭48.7	2,146㎡	11	4	昭49.11	4,439㎡	12	10	昭56.5	1,225㎡	10	0				
山崎中学校	昭54.5	6,103㎡	22	9	昭62.3	870㎡	0	3								
木曾中学校	昭58.5	6,487㎡	20	10												
小山田中学校	昭59.3	4,499㎡	13	8	昭60.3	748㎡	3	2	昭62.3	397㎡	0	2	昭63.3	207㎡	2	0
小山中学校	平24.2	9,361㎡	24	26												
堺中学校	昭47.11	1,437㎡	12	0	昭48.8	2,096㎡	6	7	昭55.5	2,308㎡	4	3	昭50.2	292㎡		格枝室
武蔵岡中学校	昭58.5	3,133㎡	9	5	平4.1	848㎡		2								

(2) 学校図書館

学校図書館は、自由な読書活動の場として、学びの場として、子どもの成長を支える重要な拠点です。学校図書館をよりよいものとし、子どもたちの読書環境を充実させることで、豊かな知性や感性を養い「生きる力」をはぐくんでいきます。

① 町田市取組

・学校図書指導員の配置

学校図書館の充実を図るため、全校に学校図書指導員（2013年度に学校図書ボランティアから名称変更）を配置しています。学校図書指導員は、蔵書管理、図書館の環境整備、教育指導支援（読み聞かせ、ブックトーク、委員会支援、調べ学習支援など）等を行っています。

・教員等の研修の充実

2022年度は、学校図書館の充実に向けた知識を深めるための研修を年3回実施しました。対象は、司書教諭、学校図書館担当教諭及び学校図書指導員です。市立図書館との連携方法、図書の選書の方法、図書貸し出し支援に使うソフトの解説、大学の先生を講師として招いた専門的な研修などを通じて、学校図書館で役立つ知識を深めました。



ワークショップの様子

・市立図書館との連携

児童・生徒や学校の多様なニーズに応えるため、市立図書館では学校図書館支援貸出を実施し、市立図書館に所蔵している資料を貸し出して、学校図書館をサポートしています。

また、児童・生徒が図書館に行って調べ学習をしたり、市立図書館職員を学校に招き、授業で読み聞かせやブックトークをしたり、市立図書館の豊富な蔵書や知識・技能を有効活用しています。



小学校の学校図書館



中学校の学校図書館

② 学校図書館蔵書状況

文部科学省は、学校図書館の蔵書の充実を図るため、1993年に学校図書館図書標準を策定し、学級数に応じて整備すべき蔵書数を定めました。

教育委員会では、2013年度に「町田市立学校図書館蔵書整備計画作成指針」を策定し、各校で学校図書館図書標準の蔵書数を満たすよう計画的に蔵書の整備を進めています。2020年度末には全ての小・中学校で学校図書館図書標準の蔵書数を達成し、2021年度末及び2022年度末もこの状態を継続しています。

今後も学校図書館の蔵書数を計画的に整備するとともに、「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能を充実させます。



3. 町田市の特色ある取組

(1) 小・中学校間の連携

町田市では、学力向上の取組みや心身の発達に応じたきめ細やかな指導を行うため、小・中学校間の連携を推進し、小中学校の9年間を見通した教育活動の連続性を確保しています。

① 小中一貫（連携）教育推進地区の指定

町田市では、2013年に小・中学校全62校を対象に、各中学校と、その中学校が進学先となる小学校をあわせたブロックである「小中一貫（連携）教育推進地区」を指定しました。この地区内の小・中学校が連携し、9年間を見通した、生活指導や学力向上の取組や、教員及び児童・生徒の交流などを行っています。

小中一貫（連携）教育推進地区一覧

地区	中学校	小学校			
		町田第一小学校	町田第三小学校	町田第四小学校	
1	町田第一中学校	町田第一小学校	町田第三小学校	町田第四小学校	
2	町田第二中学校	町田第二小学校	町田第六小学校	高ヶ坂小学校	
3	町田第三中学校	本町田小学校	忠生第三小学校		
4	南大谷中学校	町田第五小学校	南大谷小学校		
5	南中学校	南第一小学校	南第三小学校	南第四小学校	
6	つくし野中学校	つくし野小学校	小川小学校	鶴間小学校	南つくし野小学校
7	成瀬台中学校	成瀬台小学校	成瀬中央小学校		
8	南成瀬中学校	南第二小学校	南成瀬小学校		
9	鶴川中学校	鶴川第一小学校	大蔵小学校		
10	鶴川第二中学校	鶴川第二小学校	鶴川第三小学校	三輪小学校	
11	薬師中学校	藤の台小学校	本町田東小学校		
12	真光寺中学校	鶴川第四小学校			
13	金井中学校	金井小学校			
14	忠生中学校	忠生小学校	山崎小学校	函師小学校	
15	山崎中学校	七国山小学校			
16	木曾中学校	木曾境川小学校			
17	小山田中学校	小山田小学校	小山田南小学校		
18	小山中学校	小山小学校	小山中央小学校		
19	堺中学校	小山ヶ丘小学校	相原小学校		
20	武蔵岡中学校	大戸小学校			

② 小中一貫町田っ子カリキュラム

小中学校の9年間を見通した教育を推進するため、「道徳・規範教育」、「健康教育（食育）」、「キャリア教育」の領域について「小中一貫町田っ子カリキュラム」を作成し、どの小・中学校でも効果的な学習ができるよう取り組んでいます。

小中一貫町田っ子カリキュラム（道徳・規範教育・キャリア教育・健康教育（食育））の内容

	基礎期 (小学校1・2年 3・4年)	充実期 (小学校5・6年、 中学校1年)	発展期 (中学校2・3年)
小中一貫町田っ子カリキュラム 「道徳・規範教育」	ルール定着期	基礎的な教養期	実践・発展期
小中一貫町田っ子カリキュラム 「キャリア教育」	働く大人の姿に触れる学習期	働く意味・意義を考える学習期	適性や進路を考える学習期
小中一貫町田っ子カリキュラム 「健康教育（食育）」	基礎となる体験の充実期	体験の充実と知識の習得期	学んだことの実践期

③ 「えいごのまちだ」事業

「えいごのまちだ」事業では、子どもたちが英語に慣れ親しみ、英語に触れることのできる環境を整え、英語によるコミュニケーションを積極的に図る態度やコミュニケーション能力の育成を目指し、教員の英語の授業を支援する「Machida English Promotion Staff (MEPS)」や外国語指導助手 ALT の配置、全小学校において5年生がスヌーピーミュージアムとまちライブラリーで英語に親しむ校外学習及び「放課後英語教室」の実施、英語の4技能検定 GTEC（ジーテック）の全中学校での実施など、町田ならではの英語教育を推進しています。

併せて、習得した知識及び技能を活用して、考えや気持ちを伝え合う体験を通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う言語活動中心の授業改善の推進にも取り組んでいます。

(2) 学力向上

町田市では、小・中学校に通う児童・生徒の学力状況を分析し、その実態に沿った学力向上策を検討・提案する組織として、2013年度から「町田市学力向上推進委員会」を設置し、全市的に学力向上策に取り組んでいます。また、同一地域の小・中学校が連携して、地域ごとの学力上の課題を解決するための学力向上策にも継続して取り組んでいます。

2015年3月	「町田市学力向上推進プラン（第1次）」の策定
5月	「第1回 町田市学力向上推進フォーラム」の実施 ⇒教職員、保護者、学校関係者、一般市民へ「町田市学力向上推進プラン（第1次）」の周知 ⇒学力向上に向けた取組及び成果の報告
2017年5月	「町田市学力向上推進プラン（第2次）」の策定 「第2回 町田市学力向上推進フォーラム」の実施 ⇒一般市民へ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた町田市の学力の取組について説明
2019年1月	「第3回町田市学力向上推進フォーラム」の実施 ⇒教職員、保護者へ学力向上に向けた取組及び成果の報告
3月	「町田市学力向上推進プラン（第3次）」の策定 ⇒「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「授業をデザインする8つの取組」の設定
4月	「家庭学習推進の手引き」の改訂 ⇒小学校の教職員、保護者、児童に配布
2021年4月	「指導力向上リーフレット」「町田市スタンダード授業観察シート」の作成 ⇒授業改善を図るため小中学校の教職員に配布
2021年5月	「『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業実践集」「町田市スタンダード授業改善シート」の作成 ⇒授業改善に向けての参考資料及び学校や個人の授業力に関する実態把握として活用するため小中学校の教職員に配布
6月	「町田市スタンダード授業改善シート」を活用した調査結果の周知 ⇒2021年3月に市内小中学校教員を対象に実施 ⇒各学校の授業改善推進プランに活用
2022年3月	「町田市学力向上推進プラン（第4次）」の策定 ⇒学力調査や授業の実態等から分析した町田市の学力と実態と、町田市の取組
2022年4月	「町田市スタンダード授業改善シート」及び「『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業実践集」の周知
2022年5月	「町田市スタンダード授業改善シート」を活用した調査結果の周知⇒2022年3月実施
2023年3月	「町田市スタンダード授業改善シート」を活用した調査結果の周知⇒2023年1月に実施

① 町田市学力向上推進委員会及び学力向上検討委員会の設置

2013年度～ 2018年度	「町田市学力向上推進委員会」を設置 ⇒小・中学校校長会の代表や教育委員会の職員で構成 ⇒学識経験者を顧問に迎え、小・中学校に通う児童・生徒の学力向上に向け学力向上策の検討・提案
2019年度	「学力向上検討委員会」を設置 ⇒「指導力向上リーフレット」及び「町田市スタンダード授業観察シート」、「家庭学習等のすすめ（中学校版）」の検討・提案
2020年度	「学力向上検討委員会」を設置 ⇒「『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業実践集」及び「町田市スタンダード授業改善シート」を検討・作成
2021年度	「学力向上検討委員会」を設置 ⇒「町田市学力向上推進プラン（第4次）」及び「学力向上 MNE チャンネル」の検討・作成
2022年度	「学力向上検討委員会」を設置 ⇒「学力向上 MNE チャンネル」の検討・作成

② 研究指定校（指定期間：2年間）

研究指定校は、教育委員会から受けた学校が、学力向上、体力向上、特別の教科道徳、その他の教育課題に関わる実践的な研究を2年間行い、2年次に行う研究指定校研究発表会で、その成果を広く市内小・中学校に発表します。

2021年度	2022年度
<ul style="list-style-type: none"> ・小山小学校：総合的な学習の時間・生活科の学習を通じた豊かな心の育成 ・忠生中学校：健やかな体の育成を目指した取組 	
2022年度	2023年度
<ul style="list-style-type: none"> ・七国山小学校：豊かな心の育成（hyper-QUの取組を含む） ・忠生小学校：豊かな心の育成（hyper-QUの取組を含む） ・大蔵小学校：豊かな心の育成（多層指導モデルMIMを活用した研究を含む） ・南第一小学校：キャリア教育に関する研究 	
2023年度	2024年度
<ul style="list-style-type: none"> ・町田第六小学校：学力向上に関する研究 ・小中一貫ゆくのき学園：キャリア教育に関する研究 	

③ 学力向上重点校（指定期間：2年間）

学力向上重点校は、基礎学力の定着を目指した取組を推進する学校が指定を受けて研究活動を行っています。2年次に研究の成果として、電子データによる普及を行い、広く市内小・中学校に研究成果を周知します。

2022年度	2023年度
・小山田小学校：既習事項を課題解決に生かすこと目指した授業力向上（算数科） ・町田第三中学校：特別支援教育の視点に立った授業改善と基礎基本や学習習慣の定着	

④ デジタル教科書×「navima」実証校（指定期間：2年間）

デジタル教科書×「navima」実証校は、教育現場におけるデジタル教育ツールの活用促進に関すること、児童・生徒にとって学習効果のあるデジタル教育コンテンツの検討に関すること、児童・生徒が自ら意欲的に学び、学力を伸ばすことができるICTの活用方法を見出すことなどを目的に、先行実証します。

2021年度	2022年度
・町田第三小学校	・町田第六小学校 ・藤の台小学校

（3）体力向上

町田市では、児童・生徒の体力の向上に向けて、次の取組を実施しています。

① 学校の取組

○「体育科」「保健体育科」の授業改善

以下の取組を通して、運動が苦手な子どもも体を動かす楽しさを味わい、自分の体のことをきちんと理解できる授業づくりを目指し、全小中学校で取組を工夫しています。

- ・意欲や技能を高める「ウォーミングアップ」の工夫
- ・9年間を見通した「体づくり運動」の充実
- ・ゴール型ゲーム「町田ボール」の実践（小学校）
- ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善

○授業以外の工夫

朝の時間や休み時間、部活動等を利用して、体を楽しく動かす活動の推進や場の工夫を行います。子どもたちが運動・スポーツに親しめるような環境づくりを通して、運動の楽しさを授業以外の活動でも体感してもらい、運動の日常化を図ります。

○健康教育の推進

子どもたちが、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成する保健教育を進めていきます。また、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育んでいくための基礎を身に付けられるようにします。

・保健教育の推進

運動領域と保健領域を関連させた指導、各教科等の特質を生かした横断的な指導など

・食育の推進

町田市立小・中学校朝食レシピコンテストの実施など

② 町田市小学校連合体育大会

体力の向上や豊かなスポーツライフの実現を図ることを目的として、2019年度は、2020年度から小学校連合体育大会の全校実施に向けた、プレ大会（14校参加）を実施いたしました。なお、2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み、小学校20校で実施いたしました。2022年度は、小学校全42校で実施をしました。

2022年度 町田市小学校連合体育大会実施状況

開催日	場所	参加校	参加者
10月13日 10月14日	町田 GION スタジアム	市立小学校	各小学校の6年生

③ 町田市中学校連合体育大会

生徒にスポーツ実践の機会を与え、体力、技能の向上や、心身ともに健康な生徒の育成を目指し、スポーツ交流を通じて各学校間の親睦を図ることを目的として、町田市中学校連合体育大会を開催しています。2022年度は、中学校全20校で実施をしました。

2022年度 町田市中学校連合体育大会実施状況

開催日	場所	参加校	参加者
10月4日	町田 GION スタジアム	市内中学校（私立学校を含む）	各中学校の選抜選手

④ 体力向上パワーアップ DAY

子どもたちが生涯を通じて運動に親しむきっかけを作るため、町田市を6地区に分けて、地区ごとに「体力向上パワーアップ DAY」を開催しています。

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
第1地区	中止	中止	第2地区	第3地区	第4地区	第5地区	第6地区

※2022年度は、下記のとおり実施しました。

- 実施地区 第2地区（本町田小学校、忠生小学校、忠生第三小学校、山崎小学校、木曾境川学校、七国小学校、函師小学校）
- 日 時 2023年2月11日（土）
- 会 場 忠生第三小学校 体育館
- 内 容 様々な運動体験（FC町田ゼルビアとのボール遊び）

※2023年度は、下記のとおり実施する予定です。

- 実施地区 第3地区
- 日 時 2023年11月11日（土）
- 会 場 大蔵小学校
- 内 容 様々な運動体験（FC町田ゼルビアとのボール遊び）

(4) 防災教育

小・中学校では、月1回の避難訓練日を教育課程に位置付け、学校生活のあらゆる時間帯での地震・火災等を想定して避難の方法や行動の仕方を確実に身に付けさせるための訓練を行っています。

また、9月1日の「防災の日」には、小学校では保護者への引き渡し訓練、中学校では下校計画に基づいて帰路の安全を確認の上、帰宅方面別に集団下校等を行っています。

授業においては、防災教育デジタル教材「防災ノート～災害と安全～」(東京都教育委員会作成)などを活用した防災教育を行っています。また、安全教育プログラムに基づき危険を予測し回避する能力の育成や、緊急地震速報発令時の対応、首都直下地震等の様々な災害に対する備えや対応などについても学習しています。

2021年度からは、学校安全計画を作成し、安全指導と安全教育を系統的に進めています。

(5) 生活指導補助者派遣

小学校に入学したばかりの新1年生がスムーズに学校生活に慣れることができるように、約2ヶ月間、学級担任の補助者として生活指導補助者を派遣しています。登下校の指導、学校での約束事や学習規律の徹底、清掃・給食・安全指導補助など、学級担任と打ち合わせを行いながら必要な指導の補助を行います。

2021年度から東京都事業スクール・サポート・スタッフ(学校生活支援型)配置モデル事業の導入に伴い、3月まで継続した補助が可能となりました。

(6) 科学教育センター

児童・生徒の科学的態度・能力・技術の向上や創造力の育成を目的に、小学5年生、中学2年生から希望を募り、主に土曜日に研究活動を行っています。

運営は小・中学校の校長会が行い、理科専門の教員や外部指導者が実験等の指導をしています。

2022年度に実施した講座の回数は、小学校科学教育センターは全11回、中学校科学教育センターは、全10回でした。

なお、2022年度に参加した児童・生徒の人数は、小学生44名、中学生25名でした。

2022年度 第63回町田市小学校科学教育センター開催実績(44名参加)

No.	日程	内容	会場
第1回	4月23日	開講式・オリエンテーション	教育センター
第2回	5月14日	A組：自由研究①(60分) ⇒基礎研究①(60分) B組：基礎研究①(60分) ⇒自由研究①(60分) 科学講座 講師 中村 雄一 先生	教育センター

No.	日程	内容	会場
第3・4回	6月25日	川の生き物観察 フィールドワーク（午前） ⇒ 採集生物観察（午後） 講師 篠田 康昌 先生	大地沢青少年センター
第5回	7月30日	基礎研究②（120分） サレジオ高専 科学講座（訪問）	サレジオ工業高等専門学校
第6回	8月27日	発展研究①（60分） 自由研究②（60分） リビングロボット 「歩くメカトロウィーゴ」 （プログラミング学習）	教育センター
第7回	9月17日	発展研究②（60分） 自由研究③（60分） オリンパス「光の不思議」	教育センター
第8回	10月22日	発展研究③（60分） 自由研究④（60分） 東京高専「まがきの研究」	教育センター
第9回	11月19日	自由研究④（120分）	教育センター
第10回	12月10日	自由研究発表会（各組毎）（120分）	教育センター
第11回	2月25日	閉講式	教育センター



中学校科学教育センターの実施風景

2022年度 第60回町田市中学校科学教育センター開催実績（25名参加）

No.	日程	内容	会場
第1・2回	7月23日	開講式 運動の実験等	武蔵岡中学校
第3回	8月2日	免疫の実験：協和キリン	町田第一中学校
第4回	8月6日	地質学実験	山崎中学校
第5回	8月27日	恩田川の水質調査	南大谷中学校
第6回	9月3日	超低温の世界	南成瀬中学校
第7回	10月1日	エッグドロップチャレンジ	堺中学校
第8回	11月12日	カエルの解剖	南中学校
第9回	12月3日	光の性質	つくし野中学校
第10回	12月17日	閉講式	教育センター

（7）児童・生徒の文化活動

児童・生徒は学習活動や部活動等の時間における文化活動を通して、日々自己を磨き、高める活動を行っています。そして、その成果を遺憾なく発揮し、活躍しています。

① 連合行事の開催

児童・生徒が日頃の活動成果を発表する場として次のような連合行事を開催しました。

連合行事（2022年度の実施内容）

行事名		実施日	場所
小学校	音楽会	12月13～15日	パルテノン多摩 大ホール
中学校	音楽会（吹奏楽）	7月21日	相模女子大学グリーンホール
	音楽会（合唱）	11月8日	川崎市麻生市民館
	演劇発表会	10月30日	ひなた村

② 町田市公立小・中学校作品展

毎年1月～2月に国際版画美術館で、日頃の学習活動の成果を発表しています。小学校については書写と図画工作、中学校については美術作品を展示しています。

(8) ICT教育

「ICT」とは、略称で、情報通信技術を意味します。

町田市では、町田市5ヵ年計画 22-26 の中で、『ICT教育の充実』を重点事業に掲げています。2022年度は、GIGAスクール構想に基づき整備した一人一台のタブレット端末を中心に、デジタル教科書や学習支援コンテンツ等を活用し、ICT教育を推進してきました。

教育におけるICTの活用は、児童・生徒の学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や新学習指導要領で重要視されている「主体的・対話的で深い学び」を実現する上で効果的であり、確かな学力の育成につながるものです。また、ICTを活用することによって、一人一人の児童・生徒の能力や特性に応じた「個別最適化」された学びや、児童・生徒が教え合い学び合う中で考えを広げ深めていく「協働的な学び」を実現します。

2017年度 2018年度	町田市 ICT 活用教育推進モデル校（小山ヶ丘小学校・堺中学校） ⇒ICT 機器の導入・ICT を活用した授業実践
2019年度	町田発未来型教育実証モデル校（町田第五小学校・小山ヶ丘小学校・堺中学校） ⇒「G Suite for Education を活用した授業モデルの構築」・「AI による個別最適化された学習支援モデルの構築」に向けた取組を実施 ----- 全小・中学校に児童・生徒用のタブレット（Chromebook：Google 社が開発したクローム OS を搭載したパソコン）を1校に40台配備 ----- 町田市 ICT 教育フォーラムを開催し、取組を発表
2020年度	・文部科学省の示す GIGA スクール構想に基づき、児童・生徒一人一台のタブレット端末と高速大容量通信ネットワークを整備 ・教科用デジタル教材（指導者用）の導入【小学校（英語）】 ⇒学習内容を視覚化し、意欲的に学ぶ学習環境づくりにつなげる。
2021年度	・ICT 活用研修を年12回実施 ⇒教員の ICT 活用のスキルアップのため、都や企業の企画する研修についても各学校で積極的に活用 ・教科用デジタル教材（指導者用）の導入 【小学校（算数・英語）、中学校（数学・英語）】 ・教科用デジタル教材（学習者用）の導入 【小学校（算数）、中学校（数学または英語）】 ・小・中学校全学年でクラウド型小中一貫学習支援コンテンツの導入 ⇒学習の履歴として蓄積された記録を分析することにより、児童・生徒は自己のつまづきを把握しながら学習することができる。教員は児童・生徒の状況を把握して個に応じた指導を工夫することができ、個別最適化された学びの実現につながる。 <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

<p>2021 年度 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 授業支援員による教員への支援を実施 <p>⇒ 「Google Workspace for Education」 及び 「小・中学校全学年でクラウド型小中一貫学習支援コンテンツ」 の利用促進を図るため、ICT 授業支援員を配備し、教員が効果的に ICT 機器を活用できるよう支援体制を整えた</p>
<p>2022 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 活用研修を年 10 回実施 ・ 教科用デジタル教材（指導者用）の導入 【小学校（算数・英語）、中学校（数学・英語）】 ・ 教科用デジタル教材（学習者用）の導入 【小学校（算数・理科・英語）、中学校（数学・理科・英語）】 ・ 小・中学校全学年でクラウド型小中一貫学習支援コンテンツの導入 ・ ICT 授業支援員による教員への支援を実施 ・ 2017 年度に整備したタブレット端末を新機種に更改

4. 研修・研究

学校の教育力の向上を図るため、次のとおり、教員を対象とした研修の実施や、教員・学校の研究活動の支援を行っています。

(1) 研修

国は、法令において、教員に対しては、絶えず自己研さんに励む責務を、行政に対しては、教員の研修の機会を付与する責務を課しています。町田市では、基本的な指導力及び専門的な指導力の向上を図るため、各種の研修を行っています。

また、毎年各学校から希望を募って、国や都の研修事業に研修生の派遣を行っています。

2022年度 教育委員会実施研修一覧

No.	研修名	回数	研修の目的
1	校長研修	1	学校教育における諸課題を多角的に認識するとともに、その解決に必要な教職員の意識改革と管理職のリーダーシップの在り方や新しい学校づくりを目指した学校経営の在り方を探る。
2	副校長研修	1	副校長としての実務能力を高め、資質・能力の向上を図る。
3	教務主任研修	4	主幹及び教務主任としての資質・能力の向上と教育課題への対応能力をはぐくむ。
4	生活指導主任研修	6	主幹及び生活指導主任としての資質・能力の向上と校内における調整能力をはぐくむ。
5	研究主任研修	3	研究主任や研究担当としての資質・能力の向上を図り、校内研究の推進能力を身に付ける。
6	新任主幹教諭研修	1	主幹教諭としての役割を理解するとともに資質・能力の向上を図る。
7	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	12	中堅教員としての資質・能力の向上を図る。
8	若手教員育成研修【3年次】	2	2年次における研修内容を定着させるとともに、外部との連携・折衝力、学校経営力・組織貢献力について、講義や演習を通して学ぶ。
9	若手教員育成研修【2年次】	3	1年次における研修内容を定着させるとともに、学習指導力、生活指導力・進路指導力を中心に、講義や演習を通して学ぶ。
10	若手教員育成研修【1年次】	16	新任教諭に対し、幅広い知見をもたせて児童・生徒及び保護者の期待に応えることができるようにするとともに、実践的指導力を培い、教員として資質・能力の向上を図る。
11	人権教育研修	1	各校での人権教育推進に向け、人権に関する諸課題について研修を深める。
12	学校図書館担当者（司書教諭・図書指導員）研修	3	司書教諭及び図書指導員の職務についての理解を深め、学校図書館の充実に資する。

13	特別支援教育に関する研修	31	特別支援教育を推進するため、コーディネーター、学級主任、学級担任の資質・能力の向上を図る。
14	熱中症予防対応研修	1	熱中症予防についての知識と具体的な対応策を理解する。
15	安全な水泳指導のための講習会	1	水泳指導の基本的な考え方や進め方について周知するとともに、小・中学校における安全管理、教職員及びプール指導員等の指導力向上及び事故防止の徹底を図る。 ※水泳指導責任者が各校において伝達講習会を行い、報告書を提出する。
16	体力向上担当者研修	2	実技研修や公開授業参観を通して、体力向上に関する理解を深め、実践力を養う。
17	学校リーダー育成プログラム 「学校マネジメント講座」	4	学校運営の中核を担う教員、または今後、学校経営を担うことができる教員に学校経営に参画する意欲を喚起するとともに、学校マネジメント能力の向上を図り、教育管理職候補者のキャリア形成を図る。
18	教育行政研修に係る実地研修	6	指導主事の職務を実際に体験することにより、その重要性を理解し、指導主事の職務を担うための基礎的な資質・能力を育成する。
19	特別支援教育コーディネーター研修	5	講義や演習、実践報告等を通して、特別支援教育の概要及び本市の現状などを踏まえた上で、コーディネーターの役割や各学校での校内支援体制の在り方等について学ぶ。
20	ゲートキーパー研修	1	悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して「孤立・孤独」を防ぎ、支援することができる意識の高揚を図る。
21	小学校外国語・公開授業参観研修	4	同校種及び異校種の外国語の授業を参観し、協議することで、それぞれの指導方法について学び、指導力向上を目指す。
22	hyper-QU 活用研修	4	hyper-QU の診断結果を活用し、児童・生徒一人一人の状態や学級全体の課題を把握し、対応を検討する方法について学び、いじめ等の未然防止や不登校の予防に資する。
23	ICT 活用研修	10	教員の ICT 活用能力の向上を図る。

2022 年度 研修生派遣先一覧

No.	研修名	派遣人数
1	東京教師道場（1・2年次）	21
2	東京都教育研究員	1
3	教職大学院派遣研修	3

(2) 研究

小・中学校では、教員の資質向上及び各学校の課題解決のため、自主的に研究主題を設定して校内研究を進めています。

教育委員会では、学校からの希望により文部科学省や東京都の研究指定事業に推薦し、研究指定を受けることもあります。

その他の研究活動として、小・中学校の教員が各教科・領域の研究を行う教育研究会があります。

2022・2023年度 研究校一覧（文部科学省指定校・東京都指定校）

※町田市研究指定校については「3. 町田市の特色ある取組」をご覧ください

※2023年度については、文部科学省研究指定校はございません。

学力格差解消推進校	
2021年度～2023年度	
本町田小学校	
学力格差解消加配により配置された教員（学力向上担当教師）を中心に、関係諸機関との連携等も行いながら、学力向上への学校の取組を活性化させ、他の教員の意識を一層醸成することを目的として指定を受けた学校。	

人権尊重教育推進校	
2022年度	2023年度
南成瀬小学校(2年次) 鶴川中学校(1年次)	鶴川第三小学校(1年次) 鶴川中学校(2年次)
東京都人権施策推進指針及び都教育委員会の教育目標、基本方針に基づき、人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別の解消を目指すとともに、人権教育を一層充実させるために指定を受けた学校。	

授業改善推進拠点校	
2021年度～2023年度	
鶴川第二小学校	
児童・生徒の学力向上を図るため、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を全国学力・学習状況調査の結果等と関連付け、学びに向かう力等に注目しながら分析し、指導と評価の一体化による授業改善を組織的に推進する取組を実践的に研究・開発し、その成果を全都に普及・啓発する学校。	

小学校教科担任制等推進校	
2021 年度～2023 年度	
南大谷小学校	
児童の意識及び教員の取組状況を把握し、東京都における小学校教科担任制等の推進・充実に資する学校。	

地域人材・資源活用推進校	
2022 年度	2023 年度
町田第一小学校	木曾境川小学校
地域の人的、物的資源を活用し、子どもたちの活動の場を形成するとともに、子どもたちに多様な教育活動が展開できるよう、地域と学校との連携を推進・充実に資する学校。	

体育健康教育推進校	
2022 年度・2023 年度	
金井小学校	
児童・生徒の体力向上を図るため、「全国体力調査」及び「東京都体力調査」の結果を分析し、体育科だけでなく学校の教育活動全体を通して、体育健康教育の推進・充実に資する学校。	

コーディネーショントレーニング地域拠点校	
2022 年度	
高ヶ坂小学校・鶴川第三小学校	
コーディネーショントレーニングを体育授業の体づくり運動や補助運動の運動内容に導入したり、全校朝会、休み時間、放課後、運動部活動等の様々な機会に取り入れたりすることなどを中核にして事業を推進するとともに、その成果を実技研修会や実践報告会等を通して、当該区市町村等へ広く発信する学校。	

オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校	
2022 年度	
南第四小学校・鶴川第四小学校・成瀬中央小学校・大蔵小学校	
「重点的に育成すべき5つの資質」の育成について、これまでの取組を一層充実させたり、他の資質の育成に新たに取り組んだりするなどして、組織的・計画的にオリンピック・パラリンピック教育を推進し、取組成果を他校に普及・啓発する学校。	

5. 特別支援教育

障がいがあり、特別な支援を必要とする児童・生徒について、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行っています。

児童・生徒は、特別支援学級に籍を置いて、その障がいや発達に応じた指導を受けながら、一部の教科や給食などは通常の学級で交流学习をする、また、通常の学級で学びながら、ある一定の時間は巡回制の学級で教師の訪問指導を受けるなど、様々な形での指導を受けています。

障がいのある児童・生徒は、障がいのない児童・生徒と共に学ぶことで、学習への意欲や社会性などをはぐくみます。障がいのない児童・生徒もまた、同じ社会の一員として認め合い、育ち合うことの意味について理解し、思いやりの心を身に付けていきます。

(1) 就学・進学相談

障がいのある児童・生徒が、その程度や発達に応じた教育が受けられるように、就学・進学相談を行っています。

小学校や中学校への入学にあたっては、児童・生徒の観察や診察、保護者との面接の結果等から、どのような教育が望ましいか、「町田市障がい児就学相談委員会」が所見を出し、保護者の方と就学・進学先について考えていきます。「町田市障がい児就学相談委員会」は、専門的、総合的立場から判断する機関として設置されており、学校、教育関係、福祉・保育関係、医療関係等の専門家により構成されています。

また、入学後、その障がいや発達の状況に変化が生じたときや、現在の学級に適応が困難となったときにも、保護者から随時相談を受け付けています。

就学・進学相談 利用者数（人）

区分 \ 年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
就学相談	281	256	285	319	347
進学相談	196	216	244	319	250

(2) 特別支援学級

障がいがあることにより、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育の場として、一部の小・中学校に特別支援学級を設けています。特別支援学級では、児童・生徒の障がいや習熟度に応じた学習活動を行います。

小・中学校の特別支援学級は、1959年に町田第二小学校、1961年に町田第一中学校に知的障がい学級を開設したのにはじまり、2023年5月1日現在では、全小・中学校に特別支援学級（知的障がい、自閉症・情緒障がい、肢体不自由、弱視、難聴、言語障がい、特別支援教室の7種別の学級）を設置しています。

これらの特別支援学級には、障がいの種別により、固定制、巡回制の2つの指導形態があります。固定制は、通常の学級での学習では十分にその効果を上げることが困難な児童・生徒のために、

障がいや発達の状態にふさわしい指導計画を作成し、指導を行う形態です。

巡回制は、教員が一部特別な指導を必要とする児童・生徒の在籍校を巡回して指導する形態です。

知的障がい、自閉症・情緒障がい、肢体不自由の固定制学級では、校内の通常の学級との授業や学校行事での交流、他校の特別支援学級や特別支援学校との連合行事も盛んに行われています。

○ 知的障がい学級〈固定制〉

知的な発達に遅れがある児童・生徒を対象とした固定制の学級です。

この学級では、児童・生徒の障がいや発達に合わせて、個別学習やグループ学習により、基礎的な能力を身に付ける学習や身辺自立の練習など、きめ細かい指導をしています。

また、卒業後のことも考えて、社会適応のための学習や自立活動も行っています。

○ 自閉症・情緒障がい学級〈固定制〉

知的な発達に遅れを伴わない自閉症・情緒障がいがある児童を対象とした固定制の学級です。

この学級では、児童の障がいや発達に合わせて、個別学習やグループ学習により、言語の理解と使用や、場面に応じた適切な行動などができるように、きめ細かい指導をしています。

○ 肢体不自由学級〈固定制〉

脳性マヒや進行性筋萎縮症などにより身体に不自由がある児童・生徒を対象とした固定制の学級です。

この学級では教科学習のほか、理学療法士、作業療法士による自立活動も行っています。

○ 弱視学級〈巡回制〉

治療をしても、メガネをかけても十分な視力を得ることができない児童を対象とした学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、弱視学級の先生の指導を受けて、拡大鏡やレンズを使用した物の見方など、視覚をとおして物事を理解するための視知覚向上練習や、運動能力及び表現力を向上させるための練習などを行っています。

○ 難聴学級〈巡回制〉

補聴器を使用しても話し声を聞きとることが困難な児童・生徒を対象とした学級です。

児童・生徒は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、難聴学級の先生から、補聴器を使用しての聴能練習、発音の指導やグループ指導を受けています。

○ 言語障がい学級〈巡回制〉

口蓋裂（こうがいれつ）、吃音（きつおん）などにより、発音や話し方に課題のある児童を対象とした学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、言語障がい学級の先生から、ことばや発音の指導等を受けています。

○ 特別支援教室（サポートルーム）〈巡回制〉

情緒の不安定や社会性の未発達のため、対人関係や集団への適応に困難を示す、文字や計算など特定の分野に発達の偏りがあるなどの児童・生徒を対象とした教室です。児童・生徒はコミュニケーション能力を伸ばす、社会性を養うなどの指導を個別又はグループで受けています。

児童・生徒は平常、通常の学級で勉強していますが、週1回、特別支援教室の先生から指導を受けています。

2023年度 特別支援学級

《小学校》

(2023年5月1日現在)

区 分	学級数	人数	学 校 名		
知的障がい学級《固定制》	56	395	町田第一小学校 南大谷小学校 南第二小学校 鶴川第二小学校 忠生小学校 七国山小学校 小山中央小学校	町田第二小学校 藤の台小学校 南第四小学校 鶴川第四小学校 小山田南小学校 小山小学校 相原小学校	町田第五小学校 本町田小学校 南つくし野小学校 金井小学校 木曾境川小学校 小山ヶ丘小学校
自閉症・情緒障がい学級《固定制》	18	120	町田第一小学校 鶴川第四小学校	本町田小学校 忠生小学校	南第四小学校 小山中央小学校
肢体不自由学級《固定制》	2	12	町田第六小学校		
弱視学級《巡回制》	1	8	本町田東小学校		
難聴学級《巡回制》	2	12	本町田東小学校	山崎小学校	
言語障がい学級《巡回制》	4	69	本町田東小学校	成瀬中央小学校	
特別支援教室《巡回制》		1279	全校		

《中学校》

(2023年5月1日現在)

区 分	学級数	人数	学 校 名		
知的障がい学級《固定制》	33	227	町田第一中学校 つくし野中学校 薬師中学校 堺中学校	南大谷中学校 成瀬台中学校 忠生中学校	南中学校 鶴川中学校 山崎中学校
自閉症・情緒障がい学級《固定制》	2	15	町田第三中学校		
肢体不自由学級《固定制》	1	3	町田第一中学校		
難聴学級《巡回制》	1	8	町田第二中学校		
特別支援教室《巡回制》		367	全校		

(3) 人的支援制度

特別支援学級に在籍する児童・生徒だけでなく、通常の学級に在籍する LD (学習障がい)、ADHD (注意欠如・多動性障がい)、高機能自閉症等の児童・生徒も含め、特別な支援を必要とする児童・生徒の学校生活、また学校の教育活動をサポートするため、次の人的支援を行っています。

○ 特別支援教育支援員

学校に配置し、教員の補助者として、特別な支援が必要な児童・生徒の介助や安全への配慮を行い、児童・生徒の学校生活、学校の教育活動を支援しています。

○ 特別支援教育専門家チーム

学校からの求めに応じ、大学教授などの特別支援に関する専門員(11名)が、学校に出向き、事例相談や校内研修での特別支援教育に関する講義などを行っています。

事例相談では学校に対し、特定の特別な支援を必要とする児童・生徒について、発達障がいの状況や課題に関して見解を示し、必要な支援・配慮等を踏まえた学習指導や生活指導の具体策、保護者への支援にかかる方策、学校の組織的取組に関する改善策などについて指導・助言を行っています。

○ 特別支援教育巡回相談員

通常の学級における特別な支援を要する児童・生徒に関する各校の実態を把握し、児童・生徒への指導や、管理職、特別支援教育コーディネーター、担任等への助言を行います。

また、特別な支援を要する児童・生徒への指導について、専門家チーム、関係諸機関への連絡・相談を円滑に行えるようにします。

○ 特別支援教育専任相談員

特別な支援が必要な児童・生徒への指導方法や対応についての助言を行います。また、特別支援学級、特別支援教室の指導内容や方法について教員研修会や学校訪問等を通して必要な助言を行います。



(4) 連合行事

特別支援学級の児童・生徒は普段、少人数で指導を受けていますが、より大きな集団の中で交流することも必要です。そこで、いくつかの学級が連合して、宿泊学習、遠足、合同学習会等を実施しています。2022年度は、町田市中学校連合マラソン大会、スポーツ交流会を実施しました。

また、町田第一中学校、南中学校、つくし野中学校、成瀬台中学校が実施している連合行事、中学校4校連合学習発表会は実施いたしました。

2022年度実績

行事名	実施日	場 所	備 考
町田の丘学園交流会	(中止)	町田の丘学園体育館	中学校の特別支援学級と町田の丘学園中学部の生徒が一堂に会し、交流しています。
町田市中学校連合マラソン大会	10月28日	町田 GION スタジアム (町田市立陸上競技場)	中学校の特別支援学級と町田の丘学園中学部の生徒が、障がいの程度に応じて参加しています。
スポーツ交流会	2月3日	町田市立総合体育館	中学校の特別支援学級の生徒が一堂に会し、スポーツで交流しています。

※町田の丘学園交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実施を見合わせました。

(5) 副籍制度

都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、居住する地域の小・中学校（地域指定校）に副次的な籍（副籍）をもち、交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図る制度です。

副籍制度によって、地域指定校の学校行事や授業等への参加などの直接的な交流や、学校便りや学級便りの交換などの間接的な交流が行われています。交流の内容は、保護者の希望をもとに、都立特別支援学校と地域指定校との間で相談して決定します。

(6) 特別支援教育推進モデル校

特別支援教育推進モデル校は町田市の特別支援教育を推進することを目的に2年間研究に取り組みます。町田市の特別支援教育の質的向上に寄与していきます。

2022年度	2023年度
真光寺中学校（2年目）	町田第二小学校（2年目）
町田第二小学校（1年目）	南成瀬中学校（1年目）

6. 教育相談等

すべての児童・生徒が家庭、学校、地域でいきいきと活動し、人間性豊かに成長するよう、いじめや不登校、子育てに伴う保護者の悩みなどの教育上の課題について、児童・生徒、保護者、学校等に対し、様々な支援・相談を行っています。

(1) 教育相談

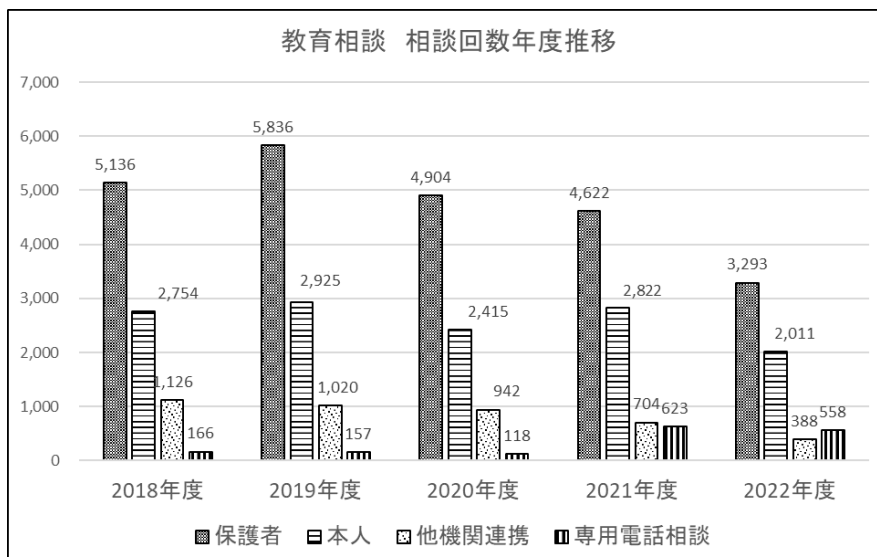
児童・生徒の様々な教育上の課題について、心理専門の相談員が児童・生徒、保護者、学校関係者の相談に応じています。主な相談内容は、不登校、いじめ、集団不適合、友人関係、発達の問題、学習に関する事、生活面に関する事などですが、その他子どもの教育に関する相談に応じています。

また、2013年度から小・中学校全校に配置されたスクールカウンセラーが、家族や友人関係、学習や進学等の様々な悩みに関して、児童・生徒の相談に応じたり、児童・生徒の教育上の問題について保護者の相談に応じたりしています。

その他、学校だけでは支援が難しい課題を抱える児童・生徒に対して、スクールソーシャルワーカーが、社会福祉の専門的知識・技術を活用し、児童相談所、福祉事務所等の様々な関係機関と連携して、問題の解決に向けた支援を行っています。

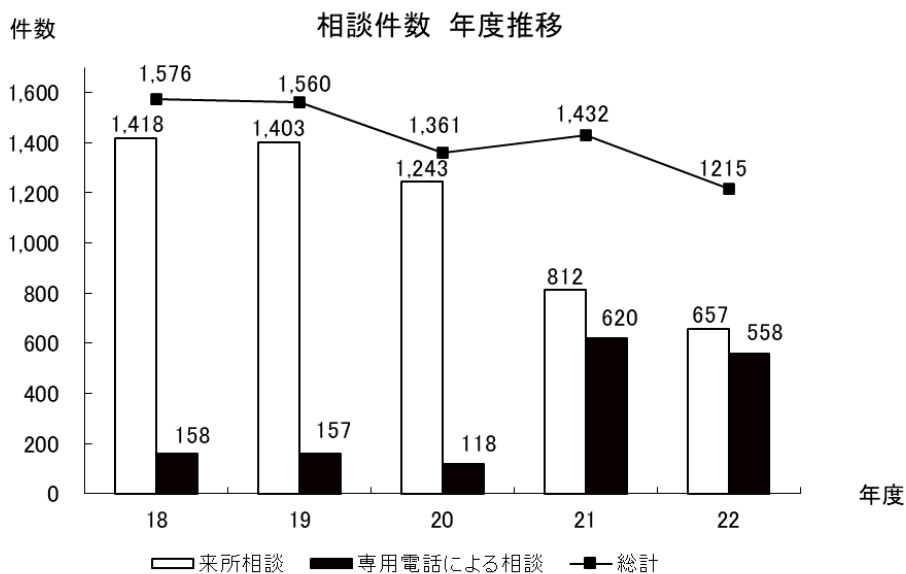
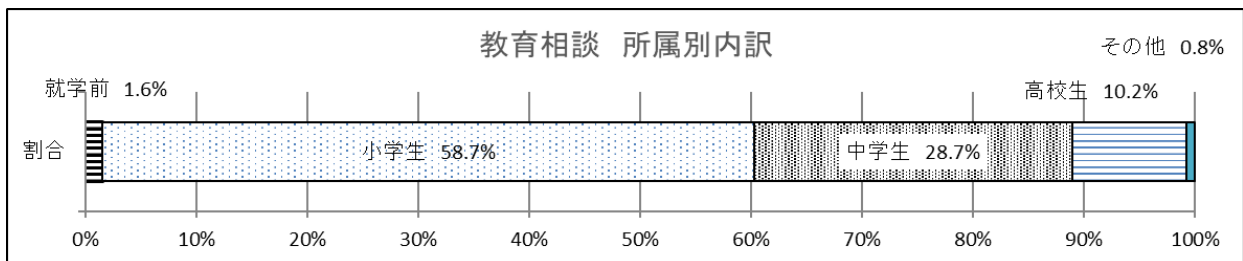
心理専門の相談員による教育相談

区分	相談日時	場所	担当	電話番号
来所相談	月～金曜日及び第1・第3土曜日 午前9時～正午 午後1時～午後5時 ※祝日を除く ※予約制	教育センター	教育相談員 (心理)	042-792-6546 (予約受付は午前8時30分から対応)
電話による教育相談	月・水・金曜日 午前9時～正午 午後1時～午後4時 ※祝日を除く	教育センター	教育相談員 (心理)	042-792-6548



2022年度 相談件数

相談内容	来所相談					電話 相談	合計 (件)
	就学前	小学生	中学生	高校生	その他		
不登校	15	137	111	38	35	191	527
友人関係	0	0	1	0	0	7	8
いじめ問題	0	0	0	0	0	3	3
発達障がい等	4	239	40	4	0	251	538
非行・不良行為	0	1	3	2	0	7	13
暴力行為	0	2	1	1	0	5	9
心身の健康・保健	0	6	2	3	0	28	39
家庭環境	0	0	0	0	0	2	2
児童虐待	0	2	0	1	0	6	9
学業・進路	0	2	6	1	0	23	32
教職員との関係	0	0	0	0	0	10	10
学校環境	0	0	0	0	0	2	2
学校・家庭以外の問題	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	23	23
合計	19	389	164	50	35	558	1215



(2) 不登校児童・生徒支援

小・中学校に在籍する児童・生徒の中には、心理的な要因などにより不登校又は不登校の傾向にある児童・生徒がいます。教育委員会では、2003年度にけやき教室を、2013年度にはくすのき教室を設置し、児童・生徒の社会的自立に向けた力を高めることを支援しています。

なお、くすのき教室では2021年度から、けやき教室では2022年度から、多様性のある指導を行うため指導の一部を委託化しています。

開設日は、火曜日を除く月曜日から金曜日で、実施教科は小学校・中学校の教科に準拠しています。教室では、社会性・協調性を育むための体験的活動や学習内容の補充、生活リズムの調整などを行っています。くすのき教室においては、進路相談や入試対策なども行います。

それぞれの教室で見学や体験を通して、児童・生徒一人ひとりの状況を見極めながら通室につなげています。また、教育相談担当所属の心理職を配置することで、安定して通室できるよう支援しています。

けやき教室通室児童数

年 度	人数 (人)
2018 年度	19
2019 年度	11
2020 年度	13
2021 年度	23
2022 年度	31

くすのき教室通室生徒数

年 度	人数 (人)
2018 年度	16
2019 年度	17
2020 年度	17
2021 年度	72
2022 年度	138

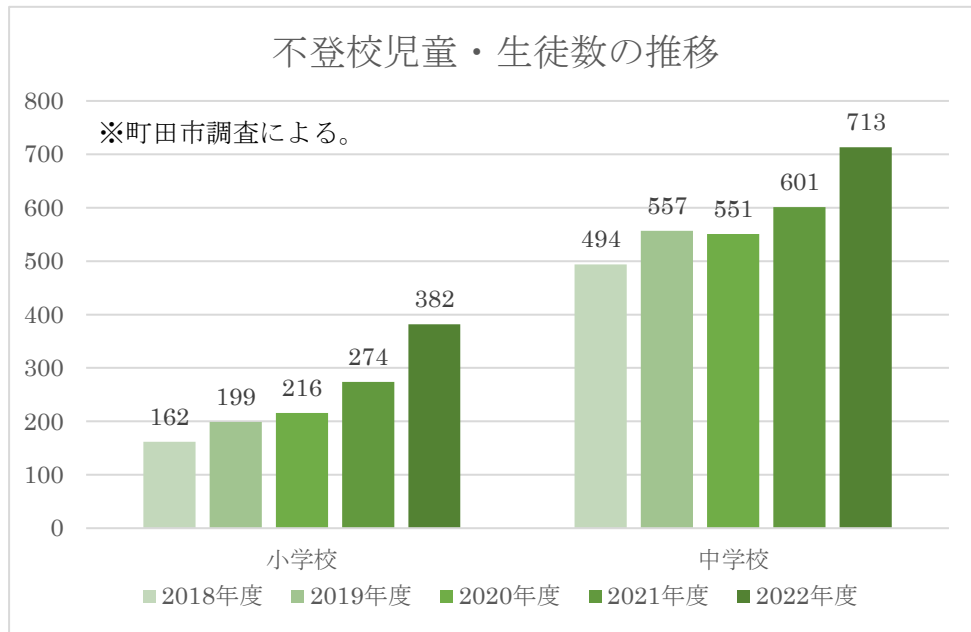


けやき教室



くすのき教室

年間 30 日以上欠席児童・生徒数の推移（過去 5 年間）



7. 家庭・地域と連携した学校づくり

家庭・地域・学校が連携・協働し、地域の資源などを生かした教育活動を推進するために、様々な取組を行っています。

(1) 学校運営協議会・地域学校協働本部 / コミュニティ・スクール

町田市立小・中学校では、地域とともに、子どもたちの豊かな教育活動を目指して、2021年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）へ移行し、2023年度からは地域学校協働本部を全校に設置しました。

学校運営協議会は学校運営や学校運営に必要な支援に関する協議を行うため、市立小中学校に設置する合議体のことをいい、校長が作成した作成した学校経営方針・学校経営計画等の基本方針を承認する等の権限を持ちます。学校運営協議会の委員は、地域住民や保護者、学校で活動するボランティアをコーディネートするボランティアコーディネーター（後述）、まちとも関係者等を中心に構成されています。

地域学校協働本部は、副校長や地域連携担当教員、ボランティアコーディネーターが中心となり、学校運営協議会で承認された計画に基づいて地域学校協働活動を実施していくネットワークのことをいい、町田市コミュニティ・スクールでは学校運営協議会と地域学校協働本部が大きな柱となっています。

(2) 学校支援ボランティア

① 学校支援センター

家庭・地域・学校が協力して子どもを育てていく“しくみ”をつくるため、町田市学校支援センターを設置し、地域連携に取り組んでいます。

学校支援センターでは、学校支援ボランティア活動の総合窓口として、地域ボランティアの学校支援活動を推進するとともに、各校に配置されているボランティアコーディネーターの活動支援及び活動の活性化を図るための研修・ミーティングを実施しています。

また、学校支援センターが事務局となり、各校のボランティアコーディネーター、市内連携団体の代表、学校長の代表が情報交換をする場として「学校支援連絡会」を開催しています。

② ボランティアコーディネーター

学校と地域ボランティアとのかけ橋となるボランティアコーディネーターは、学校のニーズに応じ、必要な学校支援ボランティア人材の手配及び調整、市内連携団体をはじめとした外部団体との連絡調整などを行います。

③ 地区統括ボランティアコーディネーター

地域で子どもの成長を支えるため、学校を核として地域人材を活用し、地域の教育力の強化を目指しています。そのために、市内の小・中学校を10地区に分け、各地区のボランティアコーディネーター等との連絡・相談や地区内の情報共有を目的とした地区ミーティングの開催などを担う地区統括ボランティアコーディネーターを配置しております。

地区統括ボランティアコーディネーターの配置により、人材情報や活動内容の情報共有を進め、地区内の学校の連携強化と地域学校協働活動の推進を図ります。

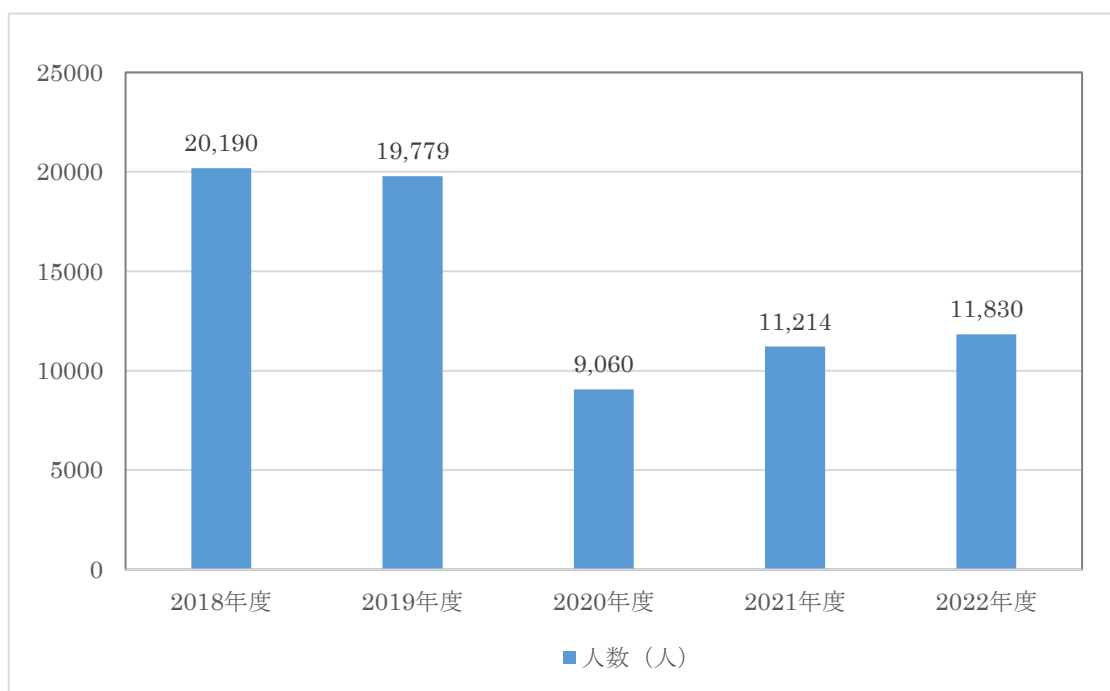
④ 学校支援ボランティア

学校支援ボランティアとは、学校の教育活動に地域の教育力を活かすため、ボランティアとして学校をサポートする保護者、地域の方々、学生、団体及び企業などのことです。このボランティアの力を教育活動に積極的に生かして「地域とともに子どもを育てる」取組を実施しています。

学校支援ボランティアは、国語、算数・数学などの教科や、道徳、総合的な学習、特別活動等での学習活動、さらに、食育、環境学習、キャリア教育、放課後学習をはじめ、委員会・クラブ・部活動指導、農業体験等の体験活動、学校花壇の整備、登下校安全指導といった、学校ニーズに対応した幅広い分野で学校の教育に携わっています。

2022年度の学校支援ボランティア活動者数は11,830人で、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による活動機会が減少した2020年度から、引き続き緩やかに増加しています。

学校支援ボランティア活動者数の推移（過去5年間）



8. 教育のための支援

保護者の経済的負担を軽減し、教育の振興を図るため、各種の支援を行っています。

(1) 就学援助

就学援助制度は、経済的理由により就学困難な家庭の子どもたちも等しく教育が受けられるよう援助を行うものです。対象は、小・中学校に在籍している児童・生徒の保護者で、生活保護受給世帯（要保護者）及びこれに準ずる程度に生活に困っている世帯（準要保護者）です。

2022年度 支給費目別支給額実績

支給費目	対 象					備 考
	要*	準*	学年	人数 (人)	支給額 (千円)	
学用品 通学用品費	×	○	小全学年	2,353	30,511	児童・生徒が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費
			中全学年	1,447	33,902	
入学準備金	×	○	小1年	301	4,823	小・中学校に入学する児童・生徒が入学時に必要とする学用品及び通学用品の購入費（22年度は支給単価改定による差額相当額の支給を実施）
			中1年	65	3,900	
入学準備金 入学前支給	×	○	就学予定者	325	17,569	
			小6年	419	25,140	
修学旅行費	○	○	小6年	430	13,307	児童・生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学科、記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの経費
			中3年	517	29,170	
校外活動費	○	○	小全学年	2,115	7,048	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加するため直接必要な交通費、見学科などの経費
			中全学年	1,011	2,914	
移動教室費	○	○	小5年	411	6,873	小学5年生、中学1・2年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修学旅行と同じ経費
			中1・2年	525	23,448	
通学費	○	○	小全学年	50	872	通学距離が概ね小学校1.5km、中学校2km以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の実費（定期代を上限）を補助します。ただし、特別支援学級在籍の児童・生徒については、距離は問いません（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます）。
			中全学年	34	1,533	
給食費	×	○	小全学年	2,321	99,536	児童・生徒の給食費として保護者が負担した金額（町田市立小学校及び武蔵岡中は学務課から保健給食課に直接支払い）
			中全学年 喫食者のみ	361	11,735	
医療費	○	○	小全学年	14	45	児童・生徒が結膜炎、中耳炎、う歯など学校保健安全法施行令第8条に規定する疾病の治療に要する経費
			中全学年	4	8	
体育実技 用具費	×	○	中全学年	165	246	中学校の体育の授業で使用する柔道着、または剣道用具の購入費
卒業 アルバム費	○	○	小6年	461	5,009	児童・生徒の卒業アルバム購入費（上限金額あり）
			中3年	551	3,864	

オンライン 学習通信費	×	○	小全学年	1,831	24,242	児童・生徒の家庭におけるオンライン 学習通信費（1世帯あたり）
			中全学年	813	10,794	

※要・・・要保護者 準・・・準要保護

要保護・準要保護児童・生徒の推移と援助総額（過去5年間）

年度	5月1日現在在籍 児童・生徒数(人)		認定者数(人)		受給率	援助総額(千円)
			要保護	準要保護		
2018	小学校	22,408	349	2,542	12.9%	208,092
	中学校	10,475	211	1,463	16.0%	106,616
2019	小学校	22,027	329	2,519	12.9%	209,313
	中学校	10,297	188	1,468	16.1%	109,748
2020	小学校	21,573	315	2,401	12.6%	185,645
	中学校	10,340	182	1,476	16.0%	60,582
2021	小学校	21,244	288	2,385	12.6%	232,810
	中学生	10,268	203	1,450	16.1%	120,978
2022	小学校	20,958	278	2,340	12.5%	234,980
	中学生	10,252	172	1,447	15.8%	121,519

（2）通学費補助制度

通学距離が概ね小学校 1.5 km、中学校 2 km以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の一部を補助します（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます）。

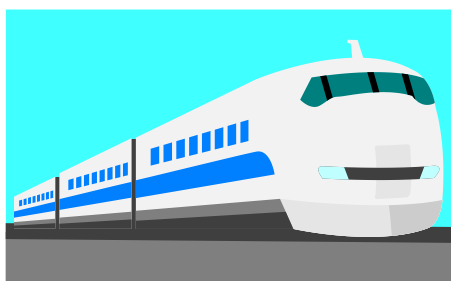
なお、1か月の定期代の1/2だった補助率を、2013年度から2/3に引き上げました。



(3) 校外学習への補助事業

校外学習で使用するバス借上料や修学旅行の交通費を補助しています。

区分	対象	補助内容
集団宿泊行事	小学6年生	日光林間学校のバス借上料を補助しています。
修学旅行	中学3年生	修学旅行の交通費を補助しています。
移動英語教室	中学1年生 中学2年生	移動英語教室のバス借上料を補助しています。



(4) 特別支援学級の就学奨励

小・中学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図るため援助を行っています。保護者の経済状況により、支給費目が異なります。

2022年度 支給費目別支給額実績

支給費目	小学校		中学校		備 考
	人数 (人)	支給額 (千円)	人数 (人)	支給額 (千円)	
学用品 通学用品費	261	3,416	121	2,880	児童・生徒が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費
入学準備金 (小1年、中1年)	23	1,175	45	2,609	小・中学校に入学する児童・生徒が入学時に必要とする学用品及び通学用品の購入費
修学旅行費 (小6年、中3年)	38	1,082	38	2,149	児童・生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学科、記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの経費
校外活動費	231	1,041	96	371	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加するため直接必要な交通費、見学科などの経費
移動教室費 (小5年、中1・2年)	42	689	45	2,205	小学5年生、中学1・2年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修学旅行と同じ経費
通学費	71	927	39	1,489	通学にかかる費用の実費(ただし上限あり)の補助(指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除く)
給食費	255	10,845	67	2,338	児童・生徒の給食費として保護者が負担した経費(町田市立小学校は学務課から保健給食課に直接支払い)
職場実習交通費 (中学校)	-	-	6	15	生徒が教育課程に従い学校長の管理のもとに、学校外の事業所等において職業教育のための実習に参加する場合の交通費
交流学习交通費	29	5	175	220	特別支援学校または他の小・中学校特別支援学級の児童・生徒と集団活動を行う場合の交通費
宿泊訓練費	341	2,918	209	3,987	特別支援学級の行事として行われる宿泊訓練に直接必要な交通費、宿泊費、見学科等
保護者付添通学費	19	572	8	44	児童・生徒の通学に保護者が付添い、バス・電車の交通機関を利用する場合の交通費(指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除く)
脳波検査料	1	0.4	1	0.2	医療機関において脳波検査を受けた場合の、保険診療の自己負担額
卒業アルバム費 (小6年、中3年)	48	523	41	278	児童・生徒の卒業アルバム購入費(上限金額あり)
オンライン学習 通信費	252	3,378	115	1,593	児童・生徒の家庭におけるオンライン学習通信費(1世帯あたり)

9. 学校給食

町田市の小学校給食は、1947年12月に町田小学校（現町田第一小学校）で週1回のみそ汁給食から始まりました。1955年から徐々に完全給食に移行し、1963年に鶴川地区に最初の共同調理所（1979年廃止）が設置されて、全小学校で完全給食が実施されるようになりました。また、1980年代から1990年代にかけて、児童数の増加に伴う小学校の新設時には、他校の給食室で調理した給食を配送する親子方式を実施しました。現在、小学校42校で自校方式の完全給食を実施しており、うち29校は民間活力を活用した調理業務委託を行っています。

中学校給食は、給食を希望する生徒に業者が調理した給食を提供する弁当併用外注方式により、2005年9月から一部の学校で開始し、2009年5月から全校で実施しています。武蔵岡中学校については、2012年度から大戸小学校との小中一貫校（小中一貫ゆくのき学園）となったことに伴い、自校方式による給食を実施しています。

（1）指導目標

現在の学校給食は、学習指導要領で、特別活動の中の学級活動に位置付けられています。給食指導では、食事の正しいあり方を体得させるとともに、食事を通して好ましい人間関係を育て、児童・生徒の心身を健全に発達させることなどを目標としています。

（2）栄養管理

学校給食では、文部科学省が定める**学校給食摂取基準***を満たすよう栄養管理を行っています。献立は、小学校は各学校の栄養士が、中学校は教育委員会事務局の栄養士が作成しています。

※学校給食摂取基準

厚生労働省が定める「日本人の食事摂取基準」を参考とし、その考え方を踏まえるとともに、文部科学省が2007年度に行った「児童生徒の食生活等の実態調査」や独立行政法人日本スポーツ振興センターが行った「平成19年度児童生徒の食事状況調査」等の結果を勘案して、文部科学省が児童・生徒の健康の増進及び食育の推進を図るために望ましい栄養量を算出したものです。

児童又は生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準（令和3年2月12日文部科学省告示第10号による）

区分	基準値			
	児童(6歳～7歳)の場合	児童(8歳～9歳)の場合	児童(10歳～11歳)の場合	生徒(12歳～14歳)の場合
エネルギー (kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13%～20%			
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20%～30%			
ナトリウム(食塩相当量) (g)	1.5未満	2未満	2未満	2.5未満
カルシウム (mg)	290	350	360	450
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
鉄 (mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミンA (μ gRAE)	160	200	240	300
ビタミンB ₁ (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB ₂ (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	25	30	35
食物繊維 (g)	4以上	4.5以上	5以上	7以上

（３）地場農産物の活用・食育

小学校給食では、日々の給食に地場農産物を積極的に活用しています。2022年12月には、町田市農業協同組合と連携協定を締結し、時季を問わず地場農産物を活用することを目的として、協同して地場農産物加工品の開発及び給食への提供に取り組んでいます。これまで、町田市内で生産された白菜を加工した「白菜キムチ」、花ゆずを加工した「ゆずはちみつゼリー」を開発し、給食で提供しています。

また、2023年1月からカゴメ株式会社と共同して、同社が提供する野菜摂取量を推定できるデジタル機器「ベジチェック®」を活用した食育授業を試行的に実施しました。この食育授業では、「ベジチェック®」で、児童の野菜摂取量を測定し数値を可視化した上で、野菜について楽しく学び、野菜を摂取することの良さを学ぶことができる内容としました。児童の野菜摂取量の上昇や野菜摂取に意欲的になったといった効果があったことから、2023年度から本格的に実施していきます。

（４）衛生管理

小学校給食では、安全性の確保に特に注意し、町田市保健所と学校薬剤師の協力を得て、衛生検査や給食従事者等の研修会等を開催しています。食材については、細菌、添加物、農薬等の検査を実施しています。

また、小学校給食では、給食室改修時に施設のドライ化を実施するとともに給食室のドライ運用を進めています。直近では、2020年度に南成瀬小学校の給食室をドライ施設に改修しました。

中学校給食では、文部科学省が制定する学校給食衛生管理基準及び都通知に準拠した町田市立中学校給食衛生管理基準を作成し、業者指導を行っています。市の栄養士は、随時調理施設に赴き、基準どおり履行されているか確認しています。



※ドライ運用とは・・・

給食調理施設の床に水や食品をこぼさずに、乾いた状態で調理や洗浄作業を行うことです。高温多湿による細菌やカビの繁殖を抑制できたり、床からの跳ね水による食品への食中毒菌の二次汚染を防いだりすることができます。

（５）食物アレルギー対応

小学校では「小学校給食における食物アレルギー対応の手引き(2021年3月改訂版)」に沿って、食物アレルギーを有する児童に適切に対応しています。

(6) 給食費

給食費は、「町田市立小学校等の学校給食費に関する規則（小学校及び武蔵岡中学校）」「町田市立中学校の学校給食費等に関する規則（武蔵岡中学校を除く中学校 19 校）」で次の表のとおり定めています。市立小学校及び武蔵岡中学校の給食費は、公会計化を導入し、町田市が管理しています。

2021 年度の後半から、油や穀物類をはじめとして食材価格が上昇していきましたが、国の交付金の活用や、調理方法の変更や使用する食材の選択の工夫などにより、価格高騰分について保護者に負担を求めず給食を提供しました。

小・中学校給食費保護者負担額

学年 金額	1・2年生	3・4年生	5・6年生	中学生
1食単価	230円	245円	265円	310円

(7) 中学校給食利用促進

生徒の健全な成長に必要な栄養バランスのとれた給食を安定的に提供できる環境を整え、その普及に努めるとともに、食育に役立つ情報を提供しています。

普及促進の取組み（2022 年度）

面白く ためになる献立の実施
<p>◆朝食レシピコンテスト優秀作品を給食で提供</p> <p>2021 年度及び 2022 年度町田市立小・中学校朝食レシピコンテスト優秀作品を給食で提供しました。生徒考案のレシピを給食で実施することで、給食への興味関心を高めること、朝食レシピコンテストへの参加意欲を促すことを目指しました。</p> <p>◆ゼルビア×キッチンコラボ献立の PR</p> <p>給食の利用促進を目的として、2022 年 4 月・5 月にゼルビア×キッチンとのコラボ給食を実施することを、中学校 1，2 年生および小学校 6 年生全員にチラシを配布しました。チラシには、選手からの食と健康に関するメッセージをみることができる QR コードを掲載し、生徒や保護者の興味を引くことができるよう工夫しました。</p> <p>◆うみのごちそう給食～海と湖の恵みを味わおう～の実施</p> <p>11 月から 2023 年 2 月まで、月に 1 回（計 4 回）中学校給食で、全国から産地直送で取り寄せた新鮮でおいしい魚介類を主菜に使用した献立を提供しました。併せて、魚食の良さや生産・流通の過程などをチラシや動画で提供し、生徒が家庭で実践できる取り組みにもつながるよう工夫しました。</p> <p>◆「ジョーイチくんの推しメニュー♪」の提供</p> <p>2023 年 3 月の献立で、石阪丈一市長が、「ぜひ中学生に食べてもらいたい」とおすすめる「大分名物・とり天」を、市長の名にちなんだ「ジョーイチくんの推しメニュー♪」として、提供しました。併せて、今の中学生が生まれた頃から市長として執務し続けている市長の「食のこだわりや気を付けていること」のメッセージを紹介しました。</p>

「まちだの中学校給食センター計画」の策定

成長期の中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供するため、給食センター方式による全員給食実施に向けて「まちだの中学校給食センター計画 ～おいしく食べて 地域みんなで健康に！～」を策定しました。

（８）町田市学校給食問題協議会

町田市学校給食問題協議会は、教育委員会の附属機関です。本協議会は、町田市の学校給食の望ましいあり方を確立するために、学校給食に関する諸問題について教育委員会の諮問を受け、調査・協議し、学校給食事業の適正かつ円滑な運営に寄与しています。

町田市給食問題協議会の答申（過去５年間）

答申日・答申名	内容（骨子）
2020年2月19日 ・中学校給食について ・小学校給食の衛生管理について －答申－	<ul style="list-style-type: none"> ◆中学校給食をより良いものとし、生徒・保護者が中学校給食を利用しやすい環境についての改善策を提案。 ◆小学校給食の食器洗浄において、従来の洗浄作業では取り除くことが困難なでんぷん汚れを落とすための改善策について提案。
2021年1月20日 ・新たな中学校給食の提供方式について －答申－	<ul style="list-style-type: none"> ◆「新たな中学校給食の提供方式」について、成長期の中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供できる実現性の高い提供方式として、「全員給食・食缶形式・市所有施設・給食センター方式」にて進めることについて提案。
2023年2月10日 ・中学校全員給食実施に伴う各学校の給食運営について －一次答申－	<ul style="list-style-type: none"> ◆中学校全員給食の実施に当たっては、以下の点に考慮した上で、生徒が安心・安全に給食を喫食できるよう、各学校と教育委員会が連携して中学校給食を運営するよう提案。 ・給食日数は、180日～185日程度を基本とし、定期試験期間中は、学校の要望に応じて給食を提供できる体制を整えること。 ・給食時間は、30分（目安として、準備10分、喫食15分、片付け5分）を基本とし、昼休憩時間20分と併せて、生徒の準備・運搬・配膳の力等に応じて柔軟に対応すること。 ・食物アレルギー対応は、安全性を最優先とすること。食物アレルギー対応食の献立を作成し、それによる給食提供を基本とすること。 ・生徒及び教職員の負担軽減のため、給食を給食センターから中学校の各階まで届けるものとし、クラス別に運搬しやすい状態にしておくこと。

10. 学校保健

学校保健は、健康診断やその他の検査を通して子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに、子どもたち自身に健康診断などの意義や目的を認識してもらい、自らが健康を守るという意識を育てていくことを目的としています。

(1) 定期健康診断

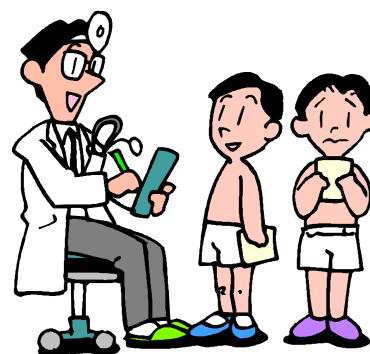
全児童・生徒を対象とした定期健康診断を実施しております。身体測定、内科、歯科、眼科、耳鼻咽喉科の検診に加え、心臓病、腎臓病、結核などの検診を実施し、病気の予防と早期発見に努めています。以下の結果表のデータは各検診実施時点のものです。

① 各種診断・検査

2022年度 身体計測平均値（市・都・全国平均値比較）

種別	性別	年齢	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
		項目									
身長 (cm)	男	町田市平均	116.8	122.8	128.3	134.0	139.1	145.9	153.6	160.8	165.7
		都平均	117.6	123.2	129.0	134.2	139.5	146.2	154.4	161.3	166.4
		全国平均	116.7	122.6	128.3	133.8	139.3	145.9	153.6	160.6	165.7
	女	町田市平均	115.9	121.8	127.4	134.0	141.2	147.8	152.2	155.0	156.8
		都平均	116.3	122.4	128.1	134.3	140.7	147.5	152.9	155.8	156.9
		全国平均	115.8	121.8	127.6	134.1	140.9	147.3	152.1	155.0	156.5
体重 (kg)	男	町田市平均	21.6	24.5	27.4	31.2	34.7	39.5	44.6	49.0	53.8
		都平均	22.1	24.4	27.8	31.2	34.5	39.7	45.7	50.3	55.4
		全国平均	21.7	24.5	27.7	31.3	35.1	39.6	45.2	50.0	54.7
	女	町田市平均	21.1	23.7	26.8	30.5	35.0	40.0	43.4	46.9	49.5
		都平均	21.3	24.1	27.0	30.1	34.6	39.5	44.3	47.7	49.7
		全国平均	21.2	23.9	27.0	30.6	35.0	39.8	44.4	47.6	50.0

※都平均・全国平均は文部科学省実施「令和3年度学校保健統計調査」の結果より



2022 年度 定期健康診断疾病状況

項 目		男		女	
		小	中	小	中
1 在籍者数		10,847	5,224	10,111	5,028
2 受診者数		10,506	4,972	9,817	4,784
3 栄養状態	(1)栄養不良	4	2	9	2
	(2)肥満傾向	131	51	72	28
4 脊柱胸郭 四肢	疾病・異常者数	116	155	130	203
	(1)脊柱側弯症・脊柱異常	79	120	106	182
	(2)胸郭異常	9	20	4	6
	(3)四肢異常	32	17	20	16
5 視力	裸眼視力	裸眼視力測定者 (1)～(4)の合計			
		10,621	4,416	9,718	3,872
	(1)1.0以上	6,950	2,145	6,006	1,671
	(2)1.0未満0.7以上	1,402	597	1,314	515
	(3)0.7未満0.3以上	1,207	833	1,272	736
	(4)0.3未満	1,062	841	1,126	950
	(1)～(4)のうち眼鏡・コンタクト装用者	852	709	1,036	956
	眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者	225	591	318	913
6 眼疾患	受診者	10,333	4,922	9,947	4,745
	疾病・異常者数	531	251	438	216
	(1)感染性眼疾患	0	0	0	2
	(2)アレルギー性眼疾患	257	213	183	187
	(3)その他の眼疾患	290	41	276	30
7 聴力	受診者	7,065	3,461	6,525	3,306
	難聴	57	18	55	17
8 耳鼻咽喉 科疾患	受診者	10,662	4,931	9,935	4,722
	(1)耳疾患	998	497	969	342
	(2)鼻・副鼻腔疾患	1,476	971	849	588
	ア アレルギー性鼻疾患	1,120	892	650	565
	イ その他の鼻・副鼻腔疾患	358	84	205	26
(3)口腔咽喉頭疾患	38	7	22	6	
9 皮膚疾患	(1)感染性皮膚疾患	1	0	1	0
	(2)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)	164	245	133	204
	(3)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)	85	18	82	21
	(4)その他の皮膚疾患	29	4	36	4
10 結核	受診者	10,792	4,941	10,052	4,766
	(1)結核患者	0	0	0	0
	(2)精密検査対象者	10	4	10	2
11 心臓	受診者(心電図検査)	1,746	1,739	1,650	1,631
	(1)心臓疾患	99	65	99	78
	(2)心電図異常	9	16	6	17
12 検尿	受診者	10,794	5,062	10,057	4,854
	(1)尿蛋白検出	18	96	41	66
	(2)尿糖検出	5	3	9	6
13 その他	(1)気管支喘息	274	154	202	144
	(2)腎臓疾患	23	34	20	29
	(3)言語障害	23	4	16	1
	(4)その他の疾病・異常	74	50	55	49

項 目			男		女		
			小	中	小	中	
14 歯科	(1)歯科受診者		10,695	4,979	9,978	4,784	
	(2)う歯・要観察歯	乳歯又は永久歯のう歯	ア 処置完了者	1,717	623	1,455	747
		久歯のう歯	イ 未処置歯のある者	1,566	595	1,289	568
		ウ 永久歯のう歯経験者		841	1,110	808	1,229
		エ 乳歯又は永久歯に要観察歯のある者		566	537	501	623
	(3)歯肉の状態	ア 歯周疾患		104	133	108	51
		イ 歯周疾患要観察者		866	754	691	424
	(4)歯列・咬合の異常			244	257	266	184
	(5)顎関節の異常			10	5	16	8
	(6)歯垢の状態			411	278	309	189
	(7)その他の歯・口腔の疾病・異常			86	38	77	13
(8)永久歯のう歯の内容	ア 未処置歯数(D)		232	307	200	301	
	イ う歯による喪失歯数(M)		0	8	0	2	
	ウ 処置歯数(F)		286	659	323	579	

注) 定期健康診断結果のほか保健調査等により把握している慢性疾患も含まれる

注) 「2 受診者数」は、学校医による内科健診の受診者数

注) 「7 聴力」は、小学校1・2・3・5年生及び中学校1・3年生が対象

注) 「11 心臓」は、小学校1年生及び中学校1年生が対象

注) 「14 歯科(8)永久歯のう歯内容」は、小学校6年生及び中学校1年生が対象

資料 学校教育部保健給食課(東京都教育委員会実施「令和4年度定期健康診断疾病異常調査」における町田市立学校の結果)

② 結核検診

小・中学校の児童・生徒全員の中から問診票を使用して精密検査の対象者を選別し、X線撮影による精密検査を実施しています。

2022年度 結核検診状況 (人)

区 分	対象者	問診調査 実施者	精密検査 対象者数	精密検査 受検者数	結果
					異常のあった者
小学校	20,958	20,778	27	27	0
中学校	10,252	10,057	8	8	0
合 計	31,210	30,835	35	35	0



③ 心臓検診

小学1年生と中学1年生全員、及び校医が必要と認めた他学年の児童・生徒に、心電図による検査を行っています。

2022年度 心臓検診状況 (人(%))

区分	対象者	一次検診				二次検診	
		受診者数	異常なし	病院管理者数	要二次検診者	受診者数	要病院受診・要精検者数
小学校 (1年生)	3,413	3,389	3,275	68	27 (0.8)	27	0
〃 (その他)	17,545	46	33	2	4 (8.7)	4	0
小学校 小計	20,958	3,435	3,308	70	31 (0.9)	31	0
中学校 (1年生)	3,419	3,367	3,225	36	50 (1.5)	49	2
〃 (その他)	6,833	50	32	2	9 (18)	8	0
中学校 小計	10,252	3,417	3,257	38	59 (1.7)	57	0
合計	31,210	6,852	6,565	108	90 (1.3)	88	2

※ 要二次検診者率は一次検診受診者数に対するもの

④ 尿(腎臓)検査

児童・生徒全員に尿検査を実施しています。

2022年度 尿検査状況 (人(%))

区分	対象者	一次検査		二次検査	
		被検査者	陽性者	被検査者	陽性者
小学校	20,958	20,836	264 (1.28)	241	83 (0.40)
中学校	10,252	9,901	502 (5.07)	421	162 (1.64)
合計	31,210	30,737	766 (1.88)	662	245 (0.80)

※ 陽性者率は一次被検査者数に対するもの

(2) 学校環境衛生の確保

子どもたちが良好な環境の中で学習できるように、「学校環境衛生基準」に基づく各種環境衛生検査を実施しています。

＜定期検査項目の例＞

- ・換気及び保温等の検査（年1～2回）
- ・採光及び照明の検査（年2回）
- ・飲料水水質検査（年1回）
- ・プール水質検査（7～9月のプール実施月に1回）

(3) 町田市学校保健会

町田市学校保健会は、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、養護教諭、栄養士によって構成されています。小・中学校における学校保健の研究及びその普及のため、意見交換・表彰・研究発表・研修会の実施・機関紙の発行等の積極的な活動をしています。

(4) 日本スポーツ振興センター災害共済給付

独立行政法人日本スポーツ振興センターでは、学校安全の普及・充実を図るとともに、学校管理下における子どもたちの負傷、疾病などに対して給付を行う災害共済給付制度を設けています。町田市では、児童・生徒全員がこの制度に加入しており、その共済掛金を公費で負担しています。

2022年度 日本スポーツ振興センター加入及び医療費の給付状況

区分	加入状況（人）	医療費の給付状況	
		給付件数（件）	給付額（円）
小学校	20,958	1,075	6,961,122
中学校	10,252	1,140	7,563,999
合計	31,210	2,215	14,525,121

2021年度以前に発生した災害に対する給付も含まれています。

(5) 新型コロナウイルス感染症への対応

学校における新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2022年度は186件の臨時休業措置を行いました。また、保護者・学校への迅速な通知・連絡等を行い、学校内の感染防止に努めました。

1 1. 新たな学校づくり

「町田市新たな学校づくり推進計画」（以下、推進計画）に基づき、児童・生徒数の減少と学校施設の老朽化という問題に対応しながら、未来の子どもたちにより良い教育環境をつくとともに、学校を地域の活動拠点として幅広く利用できる場所「子どもも大人も ともに学び、ともに育つ 学び舎」にしていく取り組みです。

（1）適正規模・適正配置

より良い教育環境をつくり、充実した学校教育の実現に向けて、学校ごとの学級数や学校施設機能といった教育環境の違いがもたらす学校教育上、学校経営上の課題を解決するために、適正規模・適正配置を推進します。

① 適正規模

町田市立学校における適正規模の定義を「1学年あたりの望ましい学級数」とし、小学校で3学級から4学級、中学校で4学級から6学級を基本的な考え方としています。

② 適正配置

「通学時間」がおおむね30分程度、「通学距離」が徒歩でおおむね2km程度を目安に通学できることを基本的な考え方としています。



(2) 新たな通学区域及び学校の統合

推進計画では、より良い教育環境を実現するために、市立小学校を42校から26校、市立中学校を20校から15校に統合する目標を掲げています。

具体的には、2040年度までに実現することを目指す「新たな通学区域」「学校候補地」、及び新校舎で教育活動を開始する「新校舎使用開始目標年度」を定めています。

① 新たな通学区域一覧表

	通学区域(中学校区)	通学区域(小学校区)	通学区域となる町区域
堺地区	1 堺 武蔵岡	1 相原 大戸	相原町
		2 小山ヶ丘	小山ヶ丘6丁目、小山ヶ丘4～5丁目の一部、小山町の一部
	2 小山	3 小山	小山町の一部
		4 小山中央	小山ヶ丘1～3丁目、小山ヶ丘4～5丁目の一部、小山町の一部
忠生地区	3 忠生 小山田	5 忠生 山崎※1 図師	図師町、忠生1～4丁目、根岸1～2丁目、根岸町、矢部町
		6 小山田 小山田南	小山田桜台1～2丁目、上小山田町、下小山田町、常盤町
	4 木曾	7 忠生第三 木曾境川	木曾西1～5丁目、木曾東1～4丁目、木曾町
鶴川地区	5 鶴川	8 鶴川第一 大蔵	大蔵町、小野路町、野津田町の一部
	6 鶴川第二 真光寺	9 鶴川第二 鶴川第三※2	鶴川1丁目、能ヶ谷1～7丁目、広袴町
		10 鶴川第三※2 鶴川第四	真光寺1～3丁目、真光寺町、鶴川2～6丁目、広袴1～4丁目
		11 三輪	三輪町、三輪緑山1～4丁目
	7 薬師 金井	12 藤の台 金井	金井1～8丁目、金井町、金井ヶ丘1～5丁目、野津田町の一部 薬師台1～3丁目
町田地区	8 町田第一	13 町田第一	原町田5～6丁目、中町1～4丁目
		14 町田第四	旭町1～3丁目、森野1～6丁目
	9 町田第二	15 町田第二	原町田1～4丁目
		16 町田第六 南大谷 高ヶ坂	高ヶ坂1～7丁目、東玉川学園3～4丁目、南大谷
	10 南大谷	17 町田第五	玉川学園1～8丁目
		11 町田第三 山崎	18 町田第三 本町田東 本町田
19 山崎※1 七国山	山崎1丁目、山崎町		
南地区	12 南	20 南第一	金森4～5丁目、南町田1～5丁目
		21 南第三 南第四	金森1～3、6～7丁目、金森東1～4丁目
		13 つくし野	22 つくし野 南つくし野
	23 鶴間		鶴間1～8丁目
	14 成瀬台	24 成瀬台 成瀬中央	成瀬台1～4丁目、成瀬1～4丁目 西成瀬1～3丁目、東玉川学園1～2丁目
		15 南成瀬	25 南第二 南成瀬
	26 小川		小川1～5丁目、成瀬が丘1～3丁目

※1 統合時に、山崎小学校区の学区の一部を図師小学校区と七国山小学校区に分割統合

※2 統合時に、鶴川第三小学校区の学区の一部を鶴川第二小学校区と鶴川第四小学校区に分割統合

② 新校舎使用開始目標年度

小学校

項番	学校名 (候補地名)	学校 候補地※1	基本計画検討着手 目標年度※2	新校舎使用開始 目標年度※3	(参考) 想定統合年度※4
1	本町田東	○	2021	2028	2025
	本町田				2028
	町田第三				
2	南第二	○	2021	2028	2025
	南成瀬				
3	鶴川第二	○	2021	2029	2026
	鶴川第三※5				
4	鶴川第三※5		2021	2029	2026
	鶴川第四	○			
5	南第一	-	2022	2030	-
6	小山田		2024	2031	2031
	小山田南	○			
7	忠生		2025	-	2030
	山崎※6				
	函師	○			
8	町田第二	-	2025	2032	-
9	山崎※6		2027	2033	2030
	七国山	○			
10	南第三		2027	2033	2033
	南第四	○			
11	町田第六	○	2027	2034	2031
	高ヶ坂				2036
	南大谷				
12	町田第四	-	2027	2034	-
13	町田第五	-	2028	2035	-
14	鶴川第一	○	2030	-	2032
	大蔵				
15	つくし野	○	2030	2036	2033
	南つくし野				
16	忠生第三	○	2030	2037	2034
	木曾境川				
17	町田第一	-	2031	2038	-
18	成瀬台		2033	2039	2036
	成瀬中央	○			
19	藤の台		2033	2039	2039
	金井				
20	金井スポーツ広場	○			
	相原 小中一貫ゆくのき学園(大戸)	○	2040年度までに検討予定		

※1 学校を建設する候補地に「○」を記載。通学区域統合をしない学校の場合は「-」と記載

※2 統合新設校 基本計画検討会で基本計画の検討に着手する目標年度を記載

※3 建替えた学校で授業を開始する目標年度を記載

※4 通学区域が統合となる想定年度を記載。通学区域の統合を段階的に行う可能性がある通学区域は、2段書きで表記

※5 統合時に、鶴川第三小学校区を鶴川第二小学校区と鶴川第四小学校区に分割統合

※6 統合時に、山崎小学校区を函師小学校区と七国山小学校区に分割統合

※7 統合にあたって、函師小学校を増築工事に対応する想定のため「-」と記載

※8 統合にあたって、鶴川第一小学校の既存校舎を活用する想定のため「-」と記載

中学校

項番	学校名 (候補地名)	学校 候補地※1	基本計画検討着手 目標年度※2	新校舎使用開始 目標年度※3	(参考) 想定統合年度※4
1	薬師 金井	○	2024	2030	2027
2	町田第三 山崎 木曾山崎公園	(○) ○	2025	2031	2031
3	南成瀬	-	2025	2031※5	-
4	鶴川第二 真光寺	○	2030	2036	2036
5	南	-	2031	2037	-
6	忠生 小山田	○	2033	2040	2037
7	堺 小中一貫ゆくのき学園(武蔵岡)	○	2040年度までに検討予定		

- ※1 学校を建設する候補地に「○」を記載。なお、学校が設置されていない候補地(学校用地を除く)は、実現可能性も含めた検討・調整が必要となることから、学校が設置されている候補地の中から次点となる候補地として「(○)」を付して記載。通学区域統合をしない学校の場合は「-」と記載
- ※2 統合新設校 基本計画検討会で基本計画の検討に着手する目標年度を記載
- ※3 建替えた学校で授業を開始する目標年度を記載
- ※4 通学区域が統合となる想定年度を記載
- ※5 長寿命化改修工事に対応を想定

(3) 新たな学校の運用体制

学校を地域の活動拠点にするとともに、教員が教育活動に専念できる環境にするため、民間活力を導入する取り組みを進めています。学校施設の維持管理や子どもが使わない時間の特別教室等の活用、教育活動の支援に民間のノウハウを活用します。

